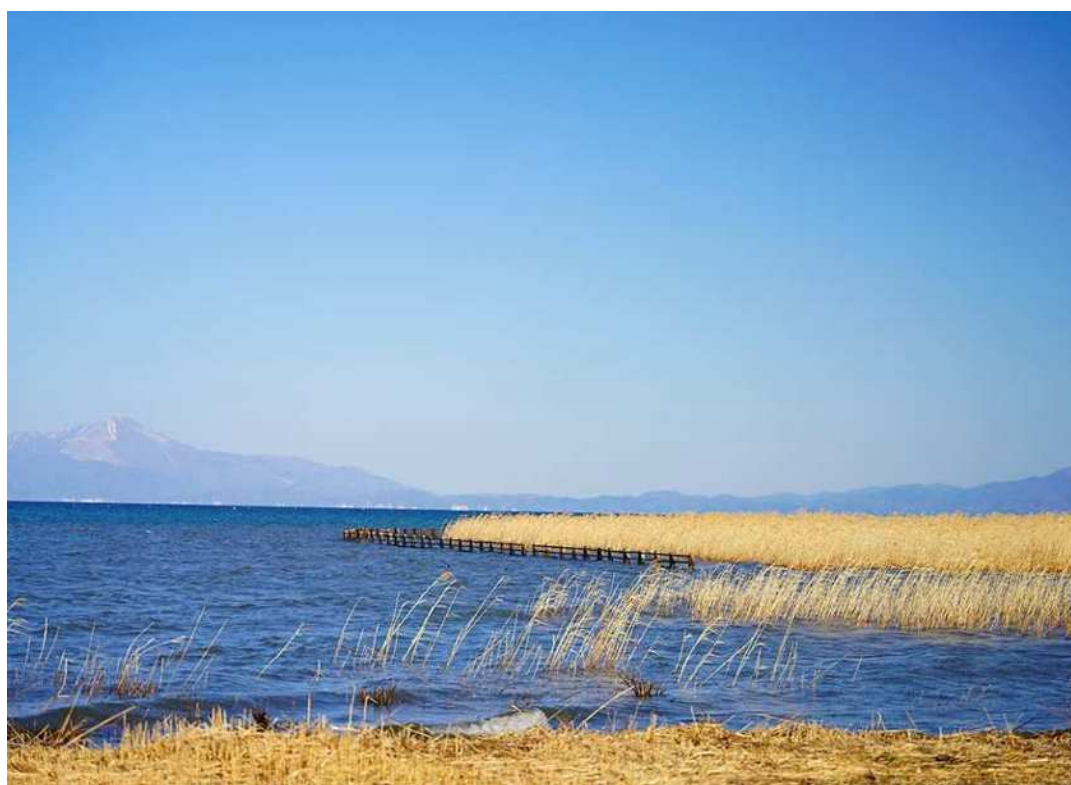


高島市環境白書 2021

(高島市環境報告書)



滋賀県高島市

INDEX -目次-

はじめに	1
1. 高島市の地勢	2
2. 高島市の環境行政の枠組み	4
3. 豊かな自然環境の保全	5
4. 健全な水環境の保全	6
5. 快適な生活環境の保全	7
6. 環境に配慮した取り組み	7
7. 資料	10

はじめに

私たち一人ひとりの普段の社会経済活動は、地球温暖化など地球の環境に大きな影響を及ぼすこととなります。地球温暖化が進むと、気温が上昇するだけでなく、生態系への影響、災害の激化、新型コロナウイルス感染症の増加など、人間の生活にさまざまな影響が伴います。

高島市では12月から年明けにかけて近年まれにみる大雪に襲われ、交通面などで大きな影響が出ました。

国内では令和3年2月に福島県で最大震度6強、10月には東京都、埼玉県で震度5強、そして令和4年3月には宮城県で震度6強の地震が観測されました。近年ではこういった大きな地震が多く発生し、地震に対する意識を改めて見直す年となりました。その他の災害では、7月に静岡県熱海市で梅雨の豪雨が続き大規模な地滑りが発生し死者26名を出す大災害となりました。

また、世界では「脱炭素」を目指す中で石炭火力の削減など様々な観点から取り組みが行われています。

国内外で環境に対する意識が高まってきている中、私たち一人ひとりが改めて環境問題に関心を持ち、長期的な視野で、ボランティア、NPO団体、行政などが連携して環境活動・環境保全に取り組む必要があります。

また、私たちは地球を形作る生態系の一部であるという自覚を持って、4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の推進等、自然と社会が調和した環境づくりに取り組むことが重要です。

本書では、本市の令和2年度における環境の現状と「第2次高島市環境基本計画」に示された施策の実施状況を取りまとめました。

皆さんの地域における環境問題に理解や関心を深めていただくことや、今後の環境保全への取り組みに少しでもお役に立てていただければ幸いです。

令和4年3月

高 島 市

1. 高島市の地勢

(1) 位置と地勢

本市は、滋賀県の北西部に位置し、市域の東部は琵琶湖、南西部には比良山地を境に大津市・京都府と、北西部には野坂山地を境に福井県に接しています。本市の行政地域は693 km²（琵琶湖を含めた面積うち陸地501 km²）と県下で最も広い面積です。

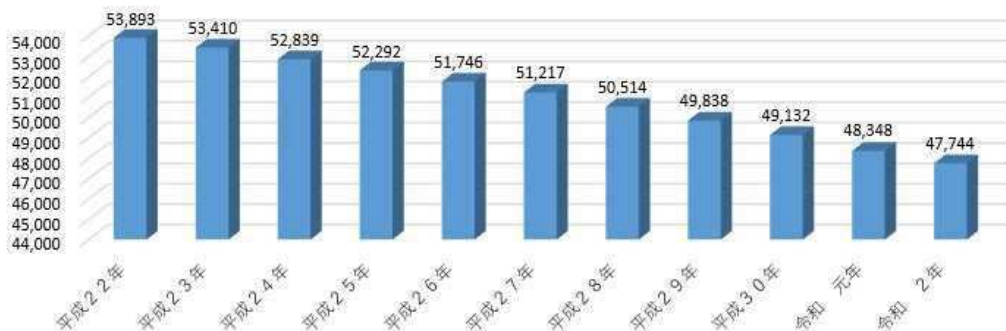


(2) 人口の変化

令和2年における本市の人口は47,744人で平成22年との比較では約11.4%の減となり、近年、減少傾向が続いています。

年齢別人口の構成比において、平成22年と令和2年との比較でみると、64歳未満の年齢層が減少し、65歳以上の年齢層が増加していることから、平均寿命の伸び、出生率の低下、若年人口の流出等を背景に少子高齢化が急速に進展しています。

高島市人口の推移



高島市年齢別人口階層表・比率

	年齢別人口（人）			年齢別比率（%）		
	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
平成22年	6769	32604	14520	12.56%	60.50%	26.94%
平成23年	6616	32303	14491	12.39%	60.48%	27.13%
平成24年	6431	31679	14729	12.17%	59.95%	27.88%
平成25年	6257	30822	15213	11.97%	58.94%	29.09%
平成26年	6050	30016	15680	11.69%	58.01%	30.30%
平成27年	5867	29345	16005	11.45%	57.30%	31.25%
平成28年	5680	28520	16314	11.24%	56.46%	32.30%
平成29年	5514	27889	16435	11.06%	55.96%	32.98%
平成30年	5378	27204	16550	10.95%	55.37%	33.68%
令和元年	5219	26490	16639	10.79%	54.79%	34.42%
令和2年	5058	25921	16765	10.59%	54.29%	35.11%

※毎年10月1日時点の状況

【住民登録に基づき算出】

(3) 土地利用

本市の陸地面積は、滋賀県でも長浜市に次いで2番目の面積を有し、人口密度は県内の市の中で最も低い地域です。

近年の土地利用形態は、森林や農用地が減り、宅地が増える傾向が続いていますが、集落内には空き家が目立ち始める地区があり、昭和の宅地開発ブームに造成された別荘地や宅地分譲地の中には、まだまだ多くの未利用地があるのが現状です。また、農家の減少等により耕作放棄地も目立ち始めています。

高島市土地利用種別面積（令和2年度）

単位：ha

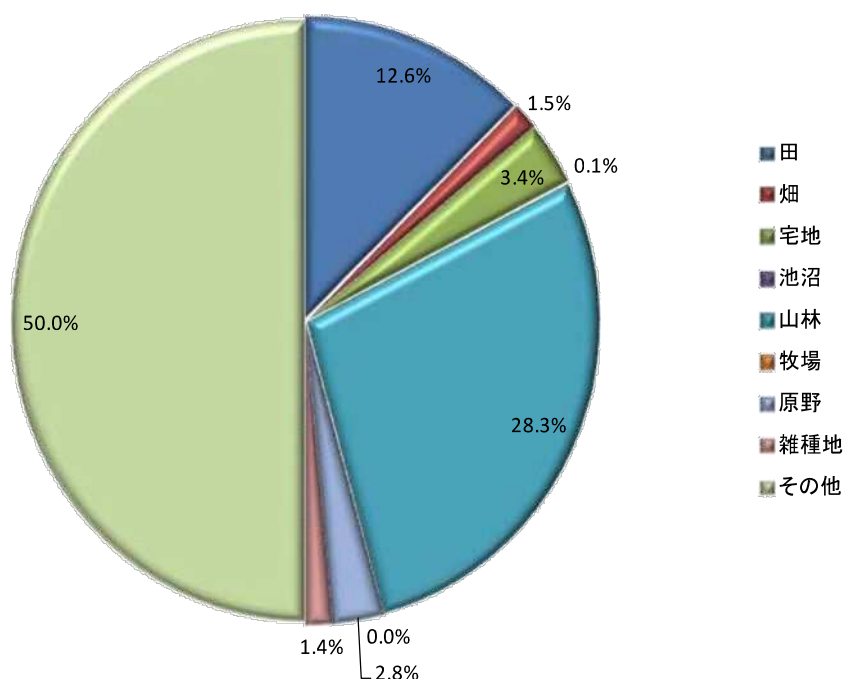
田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他
4,786	552	1,286	31	10,745	1	1,067	547	19,017

注1) 田、畑、宅地、池沼、山林、牧場、原野および雑種地は評価総面積

注2) その他は非課税地積

【資料 高島市統計書】

高島市土地利用種別面積の割合



2. 高島市の環境行政の枠組み

●高島市環境基本条例

高島市環境基本条例(平成17年制定)は、環境の保全と創造についての基本理念、市・市民・事業者(企業)の責務、施策の基本事項を定めており、本市の環境行政の基本となるものです。この条例には、環境基本計画の策定や市民・事業者と協働で環境保全活動に取り組む仕組みなどを規定しています。

また、平成21年度には社会情勢を反映させた見直しを行いました。

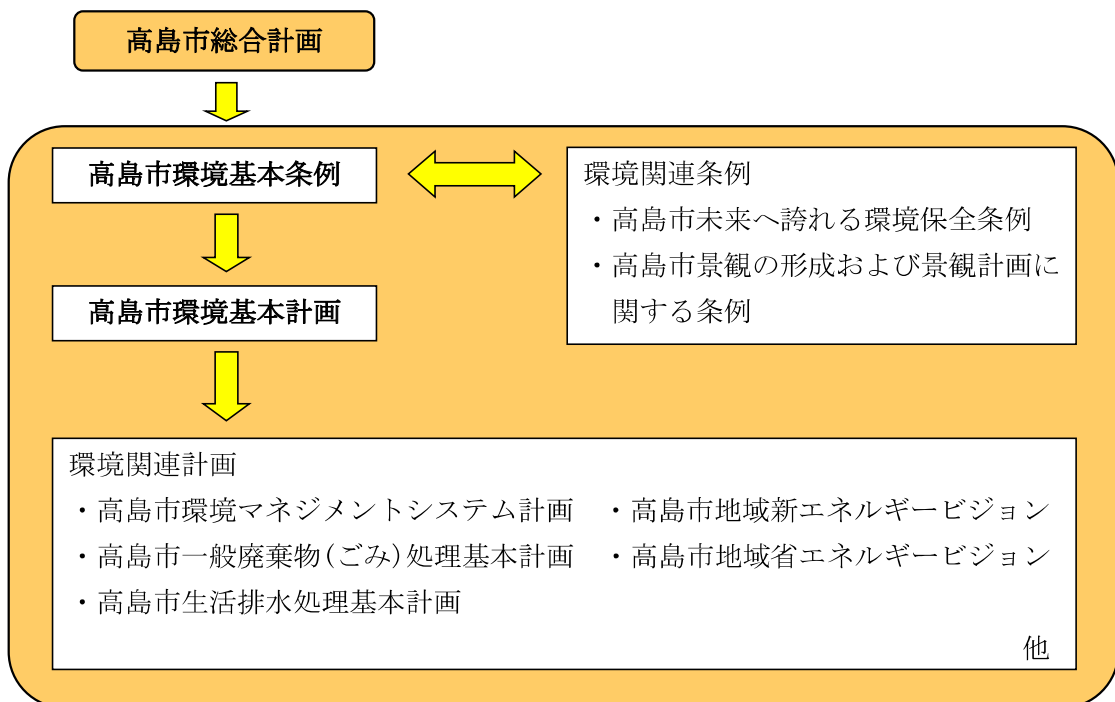
●高島市環境基本計画

高島市環境基本計画は、人と自然が共生する良好で豊かな自然環境を将来の子どもたちに引き継ぐこと、地域の歴史、風土、文化などを生かし育むこと、人類共有の課題である地球環境の保全に向けて、環境への負荷を軽減する循環型社会を築き上げることを目的とし、市の施策をはじめすべての事業活動は、環境を優先して行うとともに、市民の意見を最大限に活かし参画と対話を通して行うものとしています。

高島市新市建設計画における、将来目標像『水と緑 人のいきかう 高島市』に基づき、人と環境の良好な関係に重点を置き、本市の将来像について、長期的、総合的な施策の指針を環境面での総合計画として位置づけています。

平成29年3月には、高島市環境基本計画の計画期間満了に伴い、地域のみならず地球環境保全活動に対する大きな力となるよう第2次高島市環境基本計画を策定しました。同計画には、マイクロプラスチックや外来水生植物による生態系への影響など、近年顕在化している環境問題に対しても、具体的施策を定めています。

●環境基本条例体系図



3. 豊かな自然環境の保全

高島市は、琵琶湖をはじめ里山などの豊かな自然に恵まれています。近年は、外来魚や外来植物の増加や水草の異常繁茂など生態系に大きな変化が起きています。また、様々な開発や人々の生活様式の変化による環境や生態系への影響が懸念されています。このことから、自然環境について保全・再生を図り、豊かな自然を未来に引き継いでいくための対策が求められています。

●自然保護と農林漁業の連携

○環境保全型農林漁業の活性化

森林、里山、川、農地、琵琶湖の自然と農林漁業は密接に関連しあっていることから、農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下に抑えた環境こだわり農業などの環境保全型の農林漁業を活性化し、自然環境の保全を図りました。

●森林、里山の保全

○里山保全の推進

里山保全団体の育成や自然観察会、里、山、林を知るための講座開催、森林体験を通して森林、里山の保全に取り組みました。

○間伐材等の活用

間伐を進め、森林の多面的機能を向上させるとともに、間伐材等の有効活用に取り組みました。

○奥山の自然植生の保全

琵琶湖の水源域であり、野生鳥獣の生息場所でもある奥山に残された自然植生を損なわないよう維持しました。

●動植物の保全

○鳥獣被害の防止

鳥獣被害防止のために集落、農地周辺の森林整備、有害鳥獣の個体数の調整に取り組みました。

○野生生物の生態系の保護

動植物の生息調査、希少種の指定で生態系の保護に取り組みました。

○外来水生植物の除去

平成26年12月にオオバナミズキンバイが確認されるなど、特定外来生物が琵琶湖岸に侵入し増殖しています。これらは生態系へ影響を与えることが懸念されるため、早急に除去していく必要があります。平成28年度から除去作業を進めています。



【外来水生植物駆除作業】

4. 健全な水環境の保全

○河川水質の監視

定期的に市内の河川の水質検査を行い、河川等の水質の監視に取り組みました。

○河川流量の安定化

森林や農地を保全することにより、水源かん養機能を高め、渇水や洪水防止など河川流量の安定化に取り組みました。

○排水対策の推進

水を汚さない、汚れた水を流さない取り組みを推進しました。

○水質悪化の防止

主要河川での水質監視を行うとともに、ヨシ群落等の水質浄化機能のある在来の植物の保全を通して、水質悪化の防止に取り組みました。

○河川・琵琶湖の美化

清掃活動等の推進により河川、琵琶湖の美化に努めました。

○魚、水生生物等の保護

河川、水路および琵琶湖等に生息する魚、水生生物などの保護に取り組みました。

○地下水の保全

重要な役割を果たしている地下水の汚染防止、水量の確保に取り組みました。



【ヨシ刈り清掃イベント】

5. 快適な生活環境の保全

○地球温暖化防止の推進

令和元年5月にグランドオープンした本庁舎新館の増築整備にあたっては、太陽光パネルの設置、地下水や卓越風、自然採光など地域特性を活用した環境技術を導入することにより、光熱費の削減、エネルギー自給率の向上に努め、地球温暖化の防止、環境負荷の低減を図っています。

○省エネルギー活動の推進

地球温暖化防止や資源の有効利用の観点から、家庭、学校、オフィス、工場などでの省エネルギー推進体制を構築し、普及啓発、活動支援などの取組みを推進しました。

○再生可能エネルギー普及の推進

太陽光発電や小水力発電への積極的な取組み、地球温暖化防止や地域のエネルギー自給率の向上を目的に、太陽光パネル発電システム設置補助金制度等により、普及啓発に取り組みました。

○エコドライブの推進（アイドリングストップ等）

地球温暖化防止を目的に、自家用車、業務用車両などのエコドライブを推進しました。

○環境マネジメントシステムの積極的導入

事務所等での環境マネジメントシステム構築を推進するため、普及啓発、学習会の開催、支援施策の実施などの取組みを進めました。

6. 環境に配慮した取り組み

(1) 目指す環境像

高島市は、森林や田園地域、琵琶湖などの多様で豊かな自然の恵みを受けて歴史を積み重ね、発展してきました。

この発展と引き替えに環境に対する負荷は増え続け、今では身近な環境から地球規模にまで広がりを見せており、解決するためには社会そのものを見直す必要に迫られています。

私たちは、自然と人々の暮らしの調和により育まれてきたこの環境を大切にしながら、持続可能な資源循環型のまちづくりのしくみを確立していく必要があります。

このことから、環境面からみた高島市のあるべき姿として、第2次高島市環境基本計画で定めた環境像の実現を引き続き目指します。

水と緑と人を大切に、自然と共生するまち
～未来へ誇れる高島市の環境づくり～

(2) ごみの排出量

高島市のごみ処理量は、平成21年度で約2万トン、令和2年度のごみ処理量は、約1万6千トン。平成21年度と比較して、ごみ処理量は約4千トン削減されました。

これからも、紙ごみだけでなく生ごみなどの燃やせるごみ全般の削減に取り組んでいきます。

	ごみ排出量	平成21年度比削減量
平成21年度	19,595.65 t	—
平成22年度	19,431.16 t	△164.49 t
平成23年度	17,717.33 t	△1878.32 t
平成24年度	17,599.94 t	△1995.71 t
平成25年度	18,706.47 t	△889.18 t
平成26年度	16,949.75 t	△2645.90 t
平成27年度	16,842.45 t	△2753.20 t
平成28年度	15,758.65 t	△3837.00 t
平成29年度	15,938.09 t	△3657.56 t
平成30年度	15,940.92 t	△3654.73 t
令和元年度	15,937.43 t	△3658.22 t
令和2年度	15,798.02t	△3797.63 t

●市役所庁内の推進体制

■高島環境マネジメントシステム（T E S）の取組み

環境政策課にT E S推進事務局を設置し、環境基本計画の推進、連絡・調整、環境マネジメントシステムの運用などを毎年行っていました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外部との連絡が困難になり、令和2年度は外部監査を書面で行いました。

■グリーン購入の取組み

商品などを購入する際、必要性を十分考慮し、価格や品質だけでなく環境のことを十分考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを優先的に購入する「グリーン購入」に積極的に取り組みました。



高島市ごみ減量キャラクター
「スリムヤン」
LINE スタンプも販売中！



●環境にやさしい農業の振興（農業政策課・農村整備課）

水源かん養など多様な環境保全機能を持つ農地を守り育てる農業を推進しました。

また、環境や食の安全に配慮した環境保全型農業や無農薬・無化学肥料栽培などを推進しました。

農業排水の浄化、汚濁水、富栄養化の原因となる排水を流さないなど、環境や食の安全に配慮した農業を推進し、消費者の確保に努めました。

●農業施設を活用した小水力発電の推進（農村整備課）

高島市の豊かな自然環境との共生と農業・農村が持つ多面的機能を有効活用しながら、エネルギー自給、防災、低炭素社会づくりなどの総合的な視点からも水力を活用した再生可能エネルギーの導入を推進することは、農村振興や地域の活性化につながります。

このことから、農業施設を活用した小水力発電事業を推進しました。

●環境学習の推進（環境政策課）

次世代を担う子どもたちが、生命の尊さを理解し、自然に対する感性や環境を大切に思うよう、体験や遊びなどを通して自ら考え行動する環境学習を行いました。

学校だけでなく、職場および地域での学習会の開催など多様な主体が協働して、身近な生活行動と環境との関わりや自然環境について具体的な行動につながる環境学習を推進しました。

また、市内の大型店舗で「生ごみひと絞り運動」についてのチラシ配りを実施して市民一人一人にごみ減量の意識を持って頂く活動を行いました。



【環境学習・環境学習出前講座】学校



【環境学習・環境学習出前講座】区・自治会



【「生ごみひと絞り活動」街頭啓発】大型店舗

●食品ロス削減の推進（環境政策課）

高島市では食品ロスの一環としてフードドライブを行っております。

ご家庭で消費できない食べ物や日用品などを提供いただき、必要とされている方へお届けします。

また、一般の方だけでなく、事業所などで出た規格外品や品質上問題はなくても販売できなかつた商品を提供いただいています。



【フードドライブで食料品等を受け取っている様子】



【高島ライオンズクラブから食品類の贈呈】

7. 資 料

- (1) 令和2年度高島市環境マネジメントシステム独自目標達成状況
- (2) 高島市環境関連補助金について
- (3) 令和2年度高島市のごみ処理の状況
- (4) 高島市環境関連施設の状況
- (5) 令和2年度河川等水質検査結果
- (6) 令和2年度不燃物処理場放流水水質検査結果
- (7) 高島市環境基本計画の数値目標について

(1)令和2年度高島市環境マネジメントシステム独自目標達成状況

項目番号	内容	測定項目	R2目標値(a)			R2実績値(b)			R1実績値(c)			増減(b-a)	達成率(a/b)	評価	対前年度(b/c)
			計測値	金額換算	CO2換算	計測値	金額換算	CO2換算	計測値	金額換算	CO2換算				
a101	本庁舎および支所における電気使用量の総量を前年度実績より削減します。	電気	計測値	1,277,679 kWh	1,184,600 kWh	1,277,679 kWh	▲ 93,079 kWh	107.86	○	92.71					
			金額換算	25,962,437 円	24,071,072 円	25,962,437 円	▲ 1,891,365 円								
			CO2換算	406,302 kg-co ₂	414,610 kg-co ₂	406,302 kg-co ₂	8,308 kg-co ₂								
a102	本庁舎および支所における灯油購入量の総量を前年度実績より削減します。	灯油	計測値	69,949 L	31,647 L	69,949 L	▲ 38,302 L	221.03	○	45.24					
			金額換算	6,414,323 円	2,902,057 円	6,414,323 円	▲ 3,512,266 円								
			CO2換算	174,173 kg-co ₂	78,802 kg-co ₂	174,173 kg-co ₂	▲ 95,371 kg-co ₂								
a103	本庁舎および支所におけるLPG購入量の総量を前年度実績より削減します。	LPG	計測値	162 m ³	104 m ³	162 m ³	▲ 58 m ³	155.47	○	64.32					
			金額換算	83,268 円	53,559 円	83,268 円	▲ 29,709 円								
			CO2換算	1,061 kg-co ₂	683 kg-co ₂	1,061 kg-co ₂	▲ 379 kg-co ₂								
a104	本庁舎および支所におけるA重油購入量の総量を前年度実績より削減します。	A重油	計測値	0 L	0 L	0 L	0 L	-	○	-					
			金額換算	0 円	0 円	0 円	0 円								
			CO2換算	0 kg-co ₂	0 kg-co ₂	0 kg-co ₂	0 kg-co ₂								
a105	本庁舎および支所における燃えるごみの排出量を前年度実績より削減します。	燃えるごみ	計測値	6,173 kg	4,239 kg	6,173 kg	▲ 1,934 kg	145.63	○	68.67					
			金額換算	493,840 円	339,104 円	493,840 円	▲ 154,736 円								
			CO2換算	4,938 kg-co ₂	3,391 kg-co ₂	4,938 kg-co ₂	▲ 1,547 kg-co ₂								
合 計			金額換算	32,953,868 円	27,365,792 円	32,953,868 円	▲ 5,588,076 円								
			CO2換算	586,474 kg-co ₂	497,485 kg-co ₂	586,474 kg-co ₂	▲ 88,989 kg-co ₂								
b101	環境マネジメント推進本部長が示すテーマによる職員研修を開催します。	職員研修	年間	1 回	0 回	1 回	▲ 1 回								
c101	環境に関する情報を広報誌等で年12回以上提供します。	広報	年間	12 回	12 回	12 回	0 回	100.00	○	100.00					

※令和元年度 金額換算値 電気:20.32円/kwh 灯油:91.7円/L LPG:514円/m³ A重油:80.3円/L ごみ(古紙類):80円/kg

(関西電力、石油情報センター、プロパンガス料金消費者協会、ごみ減量大作戦より)

※令和元年度 CO2排出係数 電気:0.318kgCO2/kwh 灯油:2.49kgCO2/L LPG:6.55kgCO2/m³ A重油:2.71kgCO2/L ごみ(古紙類):0.8kgCO2/kg

(環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」より)

※令和2年度 金額換算値 電気:20.31円/kwh 灯油:68円/L LPG:584円/m³ A重油:68円/L ごみ(古紙類):80円/kg

(関西電力、石油情報センター、プロパンガス料金消費者協会、ごみ減量大作戦より)

※令和2年度 CO2排出係数 電気:0.35kgCO2/kwh 灯油:2.49kgCO2/L LPG:6.55kgCO2/m³ A重油:2.71kgCO2/L ごみ(古紙類):0.8kgCO2/kg

(環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」より)

(2) 高島市環境関連補助金について

■ 生ごみ処理機設置事業（家庭用）

【生ごみ処理機設置事業とは】

家庭や事業所からでる生ごみの自家処理への関心を高め、ごみの減量と再資源化を図るための生ごみ処理機設置に対して行う補助。

※平成 26 年度から、特に生ごみの減量化および資源化に取り組みを進めており、補助制度を拡充しています。

○事業主体

市民

○補助対象となる経費

一般家庭用の生ごみ処理機設置等の経費

特別な事由を除き、同一世帯につき 1 台を限度とする

○補助金の額や補助率

補助率…	電気式生ごみ処理機	購入費用の 2 / 3 以内	限度額	40,000 円
	コンポスト	購入費用の 2 / 3 以内	限度額	7,500 円
	コンポスト用基材	購入費用の 2 / 3 以内	限度額	3,000 円

○補助要綱

高島市未来へ誇れる環境づくり事業費補助金交付要綱

○令和 2 年度実績

〔	電気式生ごみ処理機	22 件	761,298 円
	コンポスト	17 件	73,305 円
	コンポスト用基材	5 件	10,010 円
			計 844,613 円

■ 生ごみ処理機設置事業（事業所用）

○事業主体

市内に事業所を有する者

○補助対象となる経費

生ごみ処理機（生ごみを微生物分解、加熱乾燥、電磁熱分解等の方法により処理し、堆肥化、消滅または減量化する機器（焼却炉およびディスポーザを除く。））の導入に係る費用

○補助金の額や補助率

補助率 … （3 kg 以下）

購入費用の 2 / 3 以内 限度額 4 万円

（3 kg 超）

購入費用の 2 / 3 以内 限度額 200 万円

○補助要綱

高島市事業所用生ごみ処理機導入事業費補助金交付要綱

○令和2年度実績

2件 4,000,000円

■ごみ集積所整備事業

【ごみ集積所整備事業とは】

ごみ集積所における犬や猫・カラス・風雪などによるごみの散乱を防止し、集積所周辺の環境改善と公衆衛生の向上を図る目的で、一般家庭から出るごみを集積する施設を整備する事業に対する補助

○事業主体

区、自治会のない地域で組織されている団体

○補助対象となる経費

一般ごみ集積所のかご等を設置するための経費

○補助金の額や補助率

補助率 … 補助対象事業費の2/3以内 限度額 3万円

○補助要綱

高島市未来へ誇れる環境づくり事業費補助金交付要綱

○令和2年度実績

1件 30,000円

■太陽熱温水器設置事業

【太陽熱温水器設置事業とは】

限りある資源の節約と省エネルギー意識の高揚、自然エネルギー機器の導入を推進するために行う太陽熱温水器を購入する事業に対する補助

○事業主体

市民

○補助対象となる経費

太陽熱温水器の購入にかかる経費

同一世帯につき1台を限度とする

○補助金の額や補助率

補助率 … 購入費の1/10以内 限度額 5万円

○補助要綱

高島市未来へ誇れる環境づくり事業費補助金交付要綱

○令和2年度実績

5件 91,170円

■太陽光発電システム設置補助金（住宅用）

【太陽光発電システム設置補助金とは】

地球温暖化防止対策の一環として、自然エネルギーの有効利用を促進し環境にやさしいまちづくりを推進するため、太陽光発電システムを設置される方に対する補助

○事業主体

次の全てに該当する方

- ・市内に住所がある方（実績報告時までに住所を市内に移される方を含む）
- ・市税の滞納がない方
- ・過去にこの補助金を受けていない方

○補助対象となる経費

以下のすべての要件を満たすことが条件。

- ・住宅の屋根等への設置に適したものであり、低圧配電線と逆潮流有りで連携したものであること。
- ・太陽電池の最大出力の合計値が10キロワット未満であること。
- ・自らが居住する住宅（店舗等の併用住宅を含む。）等に設置するものであること。
- ・市内に本店または支店を有する施工業者および販売業者から購入するものであること。
- ・システムが設置された建売住宅（未入居の新築物件に限る。）を購入する場合にあっては、補助金の交付の決定があった日から当該年度の末日までに住宅の引渡しを受けるものであること。
- ・電力会社と電力の受給に関する契約を締結するものであること。
- ・未使用であること。

○補助金の額や補助率

補助金 … 1キロワットあたり3万円（限度額10万円）

○補助要綱

高島市住宅用太陽光発電システム設置補助金交付要綱

○令和2年度実績

6件 600,000円

■高島市小水力発電モデル事業補助金

【高島市小水力発電モデル事業補助金とは】

水を資源とする小水力発電を活用し、低炭素社会および循環型社会の構築を推進するため、小水力発電施設の設置に係る経費の一部を補助

○事業主体

市内で主たる活動を行う法人、団体

○補助対象となる経費

- ・市内に設置されるもので、発電出力が20キロワット未満の小水力発電に必要な設備。

(発電機、制御装置、安定器、蓄電池、発電に必要な配管、電気利用のための電気配管、棟屋、危険防止柵および市が認めた付帯設備)

○補助金の額や補助率

補助金 … 補助対象事業費の2分の1以内 限度額50万円

○補助要綱

高島市小水力発電モデル事業補助金交付要綱

○令和2年度実績

0件 0円

(3) 令和2年度高島市のごみ処理の状況

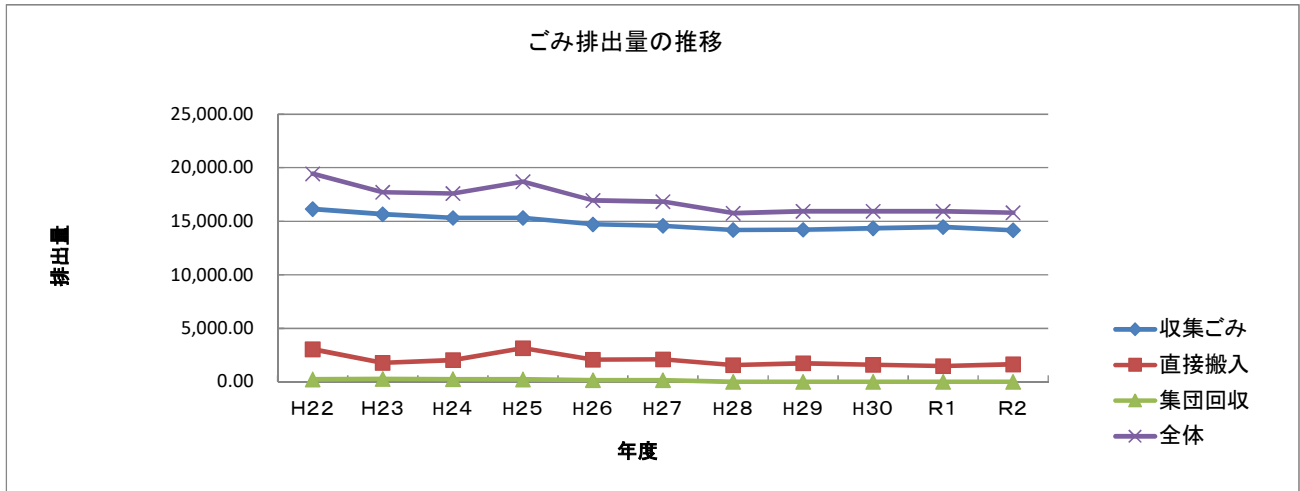
1. ごみ排出量の推移

(単位:t)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
収集ごみ	16,146.51	15,663.58	15,313.18	15,323.74	14,709.54	14,568.50	14,195.35	14,207.14	14,350.84	14,463.23	14,159.94
直接搬入	3,044.19	1,775.70	2,038.74	3,143.39	2,070.86	2,102.44	1,563.30	1,730.95	1,590.08	1,474.20	1,638.08
集団回収	240.46	278.05	248.02	239.34	169.35	171.51	-	-	-	-	-
全体	19,431.16	17,717.33	17,599.94	18,706.47	16,949.75	16,842.45	15,758.65	15,938.09	15,940.92	15,937.43	15,798.02

※集団回収は平成27年度で要綱廃止

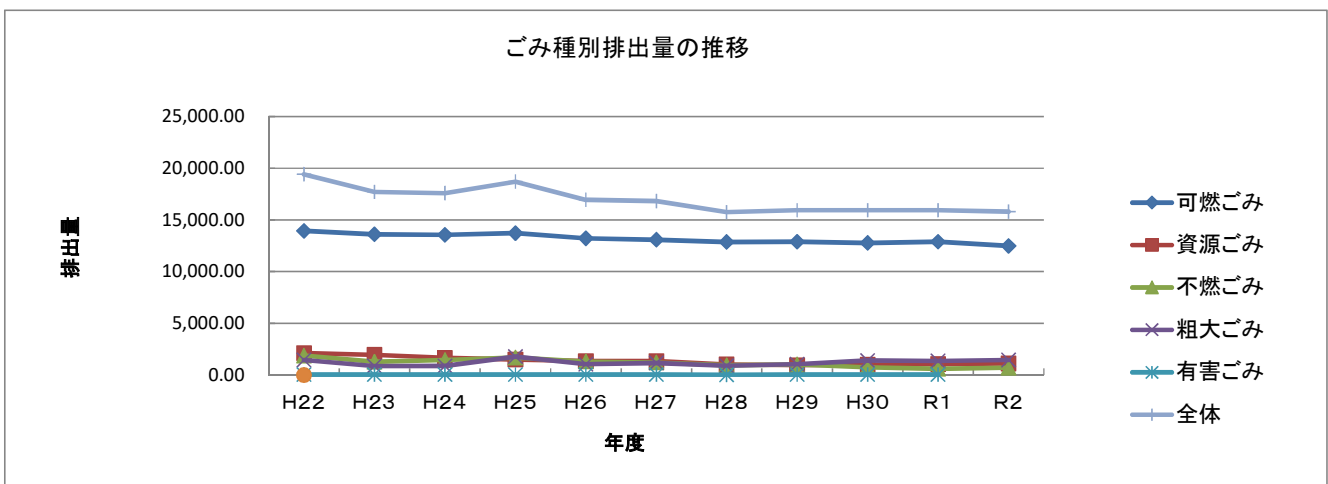
市民1人・1日あたり 863g



2. ごみ種別排出量の推移

(単位:t)

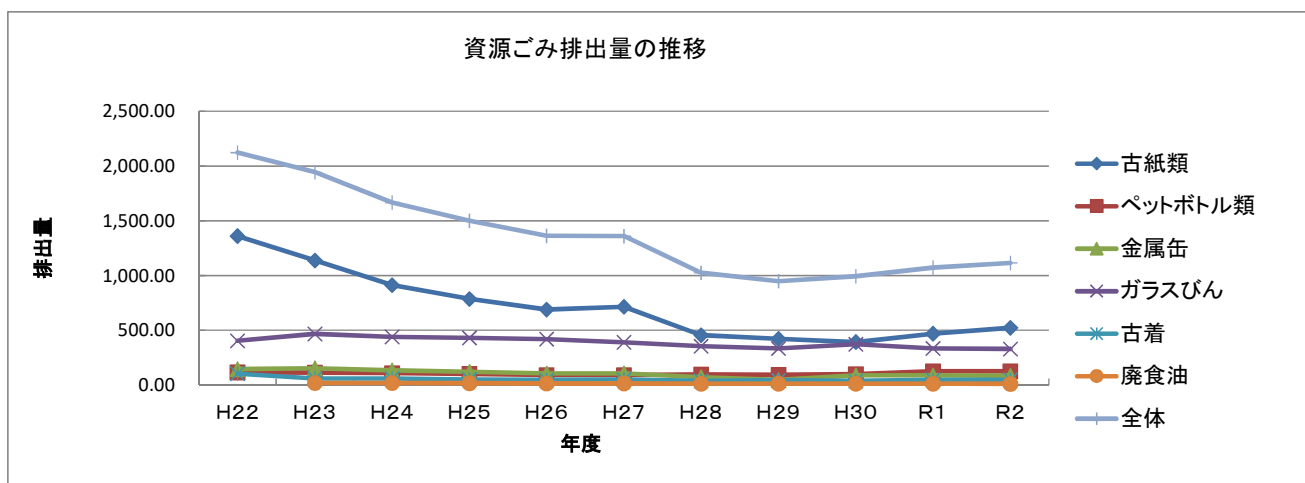
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
可燃ごみ	13,945.31	13,600.15	13,564.12	13,723.74	13,223.92	13,087.91	12,871.16	12,905.85	12,777.25	12,893.75	12,499.55
資源ごみ	2,122.12	1,941.80	1,665.61	1,498.43	1,361.44	1,359.79	1,023.63	946.62	993.70	1,071.76	1,113.59
不燃ごみ	1,884.93	1,277.26	1,457.22	1,680.02	1,297.14	1,204.20	937.51	1,010.11	741.74	601.62	703.81
粗大ごみ	1,448.26	868.37	881.28	1,772.25	1,035.54	1,159.12	899.26	1,046.40	1,388.26	1,340.38	1,450.72
有害ごみ	30.54	29.75	31.71	32.03	31.71	31.43	27.09	29.11	39.97	29.92	30.35
全体	19,431.16	17,717.33	17,599.94	18,706.47	16,949.75	16,842.45	15,758.65	15,938.09	15,940.92	15,937.43	15,798.02



3. 資源ごみ排出量の推移

(単位:t)

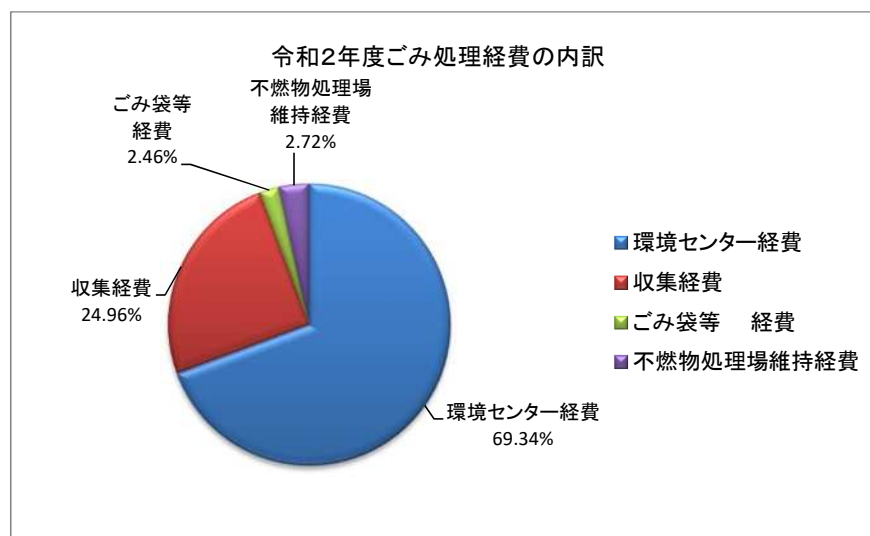
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
古紙類	1,359.48	1,135.76	910.66	784.92	689.58	712.51	454.56	421.18	390.46	468.60	522.63
ペットボトル類	113.89	111.54	108.47	101.34	89.84	90.37	95.39	92.85	98.41	124.72	124.36
金属缶	144.10	152.35	132.71	118.60	105.09	104.94	70.26	44.83	87.11	86.80	82.34
ガラスびん	402.28	465.79	438.38	429.02	418.94	389.89	353.12	333.94	370.30	333.58	328.25
古着	102.37	58.54	57.56	49.09	43.90	48.52	38.88	42.01	36.66	47.52	46.16
廃食油		17.82	17.83	15.46	14.09	13.56	11.42	11.81	10.76	10.54	9.85
全体	2,122.12	1,941.80	1,665.61	1,498.43	1,361.44	1,359.79	1,023.63	946.62	993.70	1,071.76	1,113.59



4. 令和2年度ごみ処理経費の内訳

(単位:円)

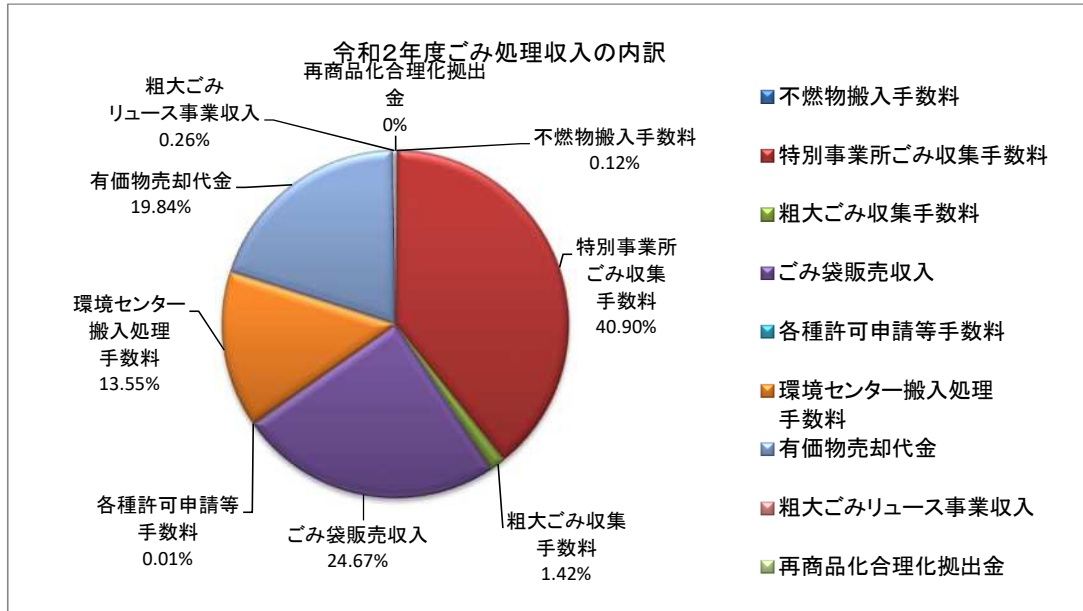
種類	環境センター経費	収集経費	ごみ袋等経費	不燃物処理場維持経費	合計
金額	738,680,531	265,911,146	23,915,632	36,791,321	1,065,298,630
割合	69.34%	24.96%	2.24%	3.45%	99.99%



5. 令和2年度ごみ処理収入の内訳

(単位:円)

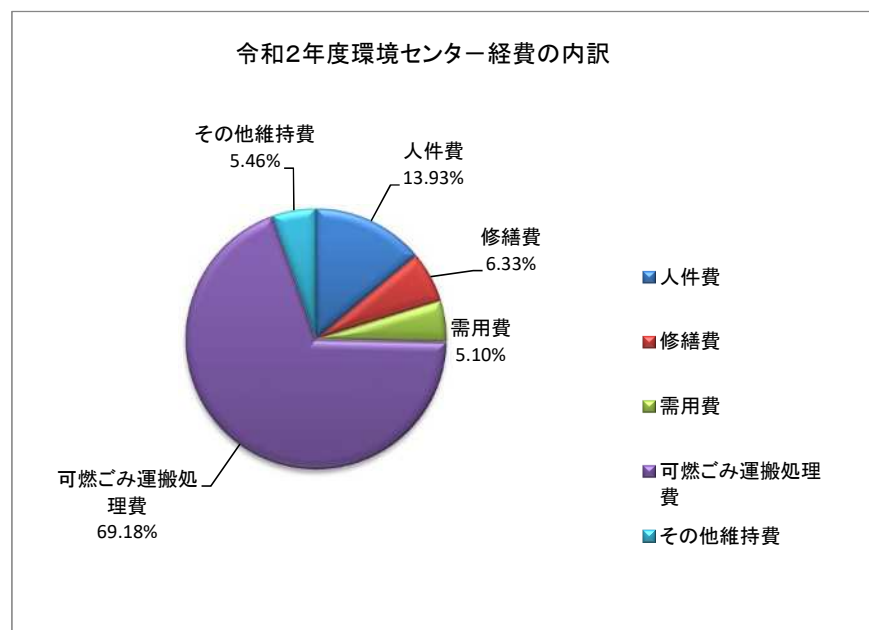
種類	不燃物搬入手数料	特別事業所ごみ収集手数料	粗大ごみ収集手数料	ごみ袋販売収入	各種許可申請等手数料	環境センター搬入処理手数料	有価物売却代金	粗大ごみリユース事業収入	再商品化合理化拠出金	合計
金額	117,370	36,925,200	1,289,900	23,268,580	6,000	13,763,100	18,716,877	245,000	0	94,332,027
割合	0.12%	39.14%	1.37%	24.67%	0.01%	14.59%	19.84%	0.26%	0.00%	100.00%



6. 令和2年度環境センター経費の内訳

(単位:円)

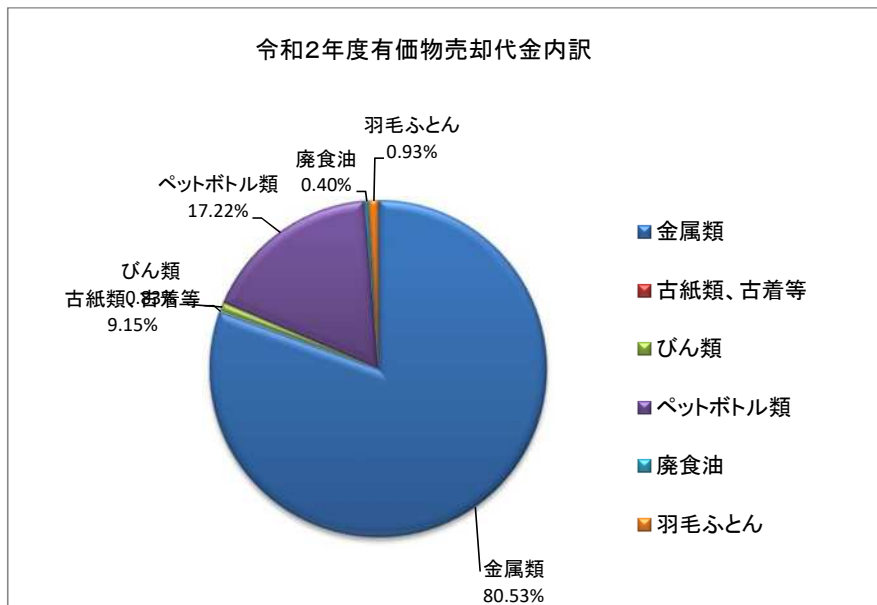
種類	人件費	修繕費	需用費	可燃ごみ運搬処理費	その他維持費	合計
金額	102,890,298	46,750,000	37,701,858	510,973,152	40,365,223	738,680,531
割合	13.93%	6.33%	5.10%	69.17%	5.46%	99.99%



7. 令和2年度有価物売却代金内訳

(単位:円)

種類	金属類	古紙類、古着等	びん類	ペットボトル類	廃食油	羽毛ふとん	合計
金額	14,398,254	17,582	147,560	3,077,981	71,913	166,210	17,879,500
割合	80.53%	0.10%	0.83%	17.22%	0.40%	0.93%	100.00%



(4) 高島市環境関連施設の状況

①

施設名	マキノ不燃物処理場
所在地	高島市マキノ町沢202番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	昭和48年12月
全体容量	52,000m ³
令和2年度処理量	—
状況	平成16年3月埋立終了
残容量	なし



②

施設名	今津不燃物処理場
所在地	高島市今津町杉山35番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	平成3年9月
全体容量	58,000m ³
令和2年度処理量	251.1m ³
状況	令和3年3月埋立終了
残容量	なし



③

施設名	朽木不燃物処理場
所在地	高島市朽木荒川1119番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	昭和59年7月
全体容量	5,368m ³
令和2年度処理量	17.0m ³
状況	埋立中
残容量	1,548.8m ³



④

施設名	安曇川不燃物処理場
所在地	高島市安曇川南船木816番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	昭和47年10月
全体容量	25,000m ³
令和2年度処理量	—
状況	平成7年3月埋立終了
残容量	なし



⑤

施設名	高島横山不燃物処理場
所在地	高島市武曾横山1536番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	昭和59年2月
全体容量	19,600m ³
令和2年度処理量	—
状況	平成21年6月埋立終了
残容量	なし



⑥

施設名	新旭饗庭不燃物処理場
所在地	高島市新旭町饗庭717番地
施設の種類	一般廃棄物(陶磁器類・ガラス類)埋立処分場
埋立開始年月	昭和43年
全体容量	160,650m ³
令和2年度処理量	33.1m ³
状況	平成20年度～平成23年度再生整備工事
残容量	74.3m ³



⑦

施設名	高島市環境センター
所在地	高島市今津町途中谷236番地
施設の種類	ごみ積替え施設 リサイクル施設
稼動開始年月	平成14年12月
能力	粗大・不燃ごみ処理 15t/5h 資源ごみ処理 10t/5h
令和2年度処理量	14,886トン



⑧

施設名	高島市斎場
所在地	高島市今津町今津2211番地
施設の種類	火葬施設・・・火葬炉3基、汚物炉1基
稼動開始年月	昭和60年4月、平成30年3月一部改修
能力	5体/日
令和2年度火葬数	660件



⑨

施設名	高島市MICSセンター
所在地	高島市新旭町饗庭3475番地5
施設の種類	し尿・浄化槽汚泥受入前処理施設
稼働開始年月	平成29年10月
能力	最大汚泥量33.88kL/日 (し尿:8.63kL/日、浄化槽汚泥:25.25kL/日)
令和2年度処理量	し尿:3,327.4kL 希釈後投入量 113,737.0kL 浄化槽汚泥:5,338.4kL
概要	し尿・浄化槽汚泥を前処理し、隣接する滋賀県流域下水道処理施設へ投入、搬送する



(5) 令和2年度河川等水質検査結果

令和2年度河川等水質検査においては、12月に河川25地点、湖沼1地点、地下水2地点を調査しました。

1. 河川

調査対象の河川は、環境基準類型指定の対象外ですが、参考までに河川環境基準A類型との比較を行いました。本年度の検査結果について、環境基準項目では多くの地点において、大腸菌群数が環境基準を超過していましたが、他の項目は環境基準を満足する値でした。

※下記は、河川のデータであり、環境省が定める生活環境保全に関する環境基準と比較し、調査しています。

町名	河川名	項目	水温 ℃	透視度 度	水素イオン (pH) 濃度	生物化学的 (BOD) 要求量 mg/l	化学的 (COD) 要求量 mg/l	浮遊物質 (SS) mg/l	溶存酸素 (DO) mg/l	大腸菌群 数 MPN/100ml	全リン (TP) mg/l	全窒素 (TN) mg/l	全亜鉛 (Zn) mg/l
高島	灰田堀川		10.6	>100	6.9	0.9	3.0	3	8.8	7900	0.150	0.45	0.007
	和田打川		12.0	>100	7.1	0.5	1.1	<1	10.0	3300	0.020	0.36	0.010
	八田川		9.8	>100	7.4	0.7	1.1	<1	11.0	3300	0.011	0.45	0.002
安曇川	南川		11.6	>100	7.2	0.9	1.0	<1	11.0	4900	0.091	0.39	0.003
	青井川(中流)		11.0	>100	7.0	1.1	1.7	<1	11.0	1300	0.038	0.19	0.003
	金丸川		11.9	>100	7.1	0.9	1.0	2	9.6	780	0.064	0.41	0.012
新旭	針江大川		15.0	>100	7.1	0.8	<0.5	<1	10.0	1300	0.023	0.41	0.002
	旧南川		13.2	>100	7.2	1.5	<0.5	<1	10.0	3300	0.037	0.53	0.006
	生水川		12.0	>100	7.2	0.7	1.1	<1	10.0	200	0.031	0.28	0.004
今津	神奈川		15.0	>100	7.2	1.0	1.0	<1	9.5	230000	0.022	0.46	0.003
	安曇川		11.5	>100	7.6	0.7	1.3	<1	13.0	450	0.013	0.36	0.003
	中の川		10.8	>100	7.6	0.6	2.1	<1	11.0	780	0.007	0.39	0.004
	天川		11.1	>100	7.7	0.8	1.3	2	11.0	3300	0.009	0.13	0.003
	庄垂川		13.9	>100	7.2	0.8	1.0	2	9.9	24000	0.028	0.58	0.010
	薬師寺川		15.3	>100	7.3	0.6	0.5	<1	9.3	7900	0.013	0.70	0.005
	石田川		9.8	>100	7.4	0.5	0.5	<1	11.0	200	0.003	0.45	0.008
マキノ	酒波用水路		11.8	>100	7.4	0.5	1.0	<1	11.0	450	0.005	0.39	0.003
	知内川		9.8	>100	7.3	0.5	0.8	<1	11.0	200	0.001	0.37	0.005
	中ノ川		12.6	>100	7.3	0.7	1.5	1	8.4	2300	0.071	0.56	0.009
	唐竹川		11.1	>100	7.5	0.9	1.4	1	9.8	4900	0.079	0.53	0.006
	知内川(寺久保)		11.2	>100	7.6	0.8	1.0	<1	12.0	1300	0.006	0.45	0.003
	生来川(知内)		14.2	>100	7.4	0.9	0.8	<1	11.0	9400	0.026	0.64	0.005
環境基準					6.5以上 8.5以下	2mg/l以下	-	25mg/l 以下	7.5mg/l 以上	1,000MPN/100ml 以下	-	-	0.03mg/l 以下

- 注1) 環境基準のうち河川のpH、BOD、SS、DO、大腸菌群数は【河川A類型】、Znは、「水生生物の生息状況の適応性【生物A】」の値と比較しています。
- 注2) COD、T-P、T-Nについては、河川の基準はありません。
- 注3) 環境基準を超過している項目については、黄色で示しています。
- 注4) 大腸菌群数の基準超過については、人畜や自然由来による影響が大きいものと考えられ、必ずしも水質の汚染を示すわけではありません。

2. 湖沼

湖沼は、環境基準類型指定の対象外ですが、参考までに湖沼A類型およびII類型との比較を行いました。本年度の検査結果について、環境基準項目では、pH、SS、DO、Znを除き、環境基準を超過する値でした。過年度の検査結果と比較するとSS、T-Pが過年度の最大値をわずかに超過していましたが、他の項目では大きな変化は見られず、過年度との比較に概ね過年度の変動の範囲内でした。

※下記は、乙女ヶ池のデータであり、生活環境項目の環境基準と比較し、調査しています。

町名	湖沼名	項目	水温 ℃	透視度 度	水素イオン (pH) 濃度	生物化学的 (BOD) 要求量 mg/l	化学的 (COD) 要求量 mg/l	浮遊物質 (SS) mg/l	溶存酸素 (DO) mg/l	大腸菌群 数 MPN/100ml	全リン (TP) mg/l	全窒素 (TN) mg/l	全亜鉛 (Zn) mg/l
高島	乙女ヶ池		10.1	36	7.3	2.8	4.8	16	9.5	1300	0.19	0.580	0.010
環境基準					6.5以上 8.5以下	-	3mg/l以下	25mg/l 以下	7.5mg/l 以上	1,000MPN/100ml 以下	0.01mg/l 以下	0.2mg/l 以下	0.03mg/l 以下

- 注1) 湖沼のpH、COD、SS、DO、大腸菌群数は「利用目的の適応性【湖沼A類型】」、T-P、T-Nは、「利用目的の適応性【湖沼II類型】」の値を示しています。Znは、「水生生物の生息状況の適応性【生物A】」の値を示しています。
- 注2) BODについては、湖沼の基準はありません。
- 注3) 環境基準を超過している項目については、黄色で示しています。

3. 地下水

地下水について、A地点ではpHが参考値である環境基準：河川A類型を僅かに下回りましたが、土壌の地質的要因により低下したものと考えられます。また、DOは地下水や土壌中の生物作用により酸素が消費され、二酸化炭素が生産され、また、地下水は大気と遮断されており酸素供給が乏しいため、地下水中の二酸化炭素の割合が増加し、DOが低い値となったものと推察されます。

B地点では、DOが基準よりやや低い数値でした。その他の項目は環境基準を満足する値でした。

なお、過年度の検査結果と比べると両地点とも大きな変化は見られず、概ね過年度の変動の範囲内でした。

※下記は、地下水のデータであり、地下水の水質汚濁に係る環境基準と比較し、調査しています。

項目	地下水名	地 下 水 A	地 下 水 B	環 境 基 準
水温		17.7	15.2	-
透視度		>100	>100	-
水素イオン濃度(pH)		6.4	6.8	6.5以上8.5以下
生物化学的酸素要求量(BOD)		<0.5	<0.5	2mg/l以下
化学的酸素要求量(COD)		<0.5	<0.5	-
浮遊物質量(SS)		<1	<1	25mg/l以下
溶存酸素量(DO)		2.5	5.4	7.5mg/l以上
一般細菌		0	0	100個/ml以下
大腸菌		不検出	不検出	検出されないこと
全亜鉛(Zn)		0.003	0.009	0.03mg/l以下
カドミウム(Cd)		<0.0003	<0.0003	0.003mg/l以下
全シアン(CN)		不検出(0.1未満)	不検出(0.1未満)	検出されないこと
鉛(Pb)		<0.005	<0.005	0.01mg/l以下
六価クロム(Cr6+)		<0.01	<0.01	0.05mg/l以下
砒素(As)		<0.005	<0.005	0.01mg/l以下
総水銀(T-Hg)		<0.0005	<0.0005	0.0005mg/l以下
アルキル水銀		不検出(0.0005未満)	不検出(0.0005未満)	検出されないこと
PCB		不検出(0.0005未満)	不検出(0.0005未満)	検出されないこと
ジクロロメタン		<0.002	<0.002	0.02mg/l以下
四塩化炭素		<0.0002	<0.0002	0.002mg/l以下
クロロエチレン		<0.0002	<0.0002	0.002mg/l以下
1,2-ジクロロエタン		<0.0004	<0.0004	0.004mg/l以下
1,2-ジクロロエチレン		<0.004	<0.004	0.04mg/l以下
1,1,1-トリクロロエタン		<0.002	<0.002	1mg/l以下
1,1,2-トリクロロエタン		<0.0006	<0.0006	0.006mg/l以下
トリクロロエチレン		<0.001	<0.001	0.01mg/l以下
テトラクロロエチレン		<0.0005	<0.0005	0.01mg/l以下
1,1-ジクロロエチレン		<0.002	<0.002	0.01mg/l以下
1,3-ジクロロプロペン		<0.0002	<0.0002	0.002mg/l以下
チウラム		<0.0006	<0.0006	0.006mg/l以下
シマジン		<0.0003	<0.0003	0.003mg/l以下
チオベンカルブ		<0.002	<0.002	0.02mg/l以下
ベンゼン		<0.001	<0.001	0.01mg/l以下
セレン(Se)		<0.002	<0.002	0.01mg/l以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		0.85	1	10mg/l以下
ふっ素(F)		0.14	<0.08	0.8mg/l以下
ほう素(B)		<0.01	0.03	1mg/l以下
1,4-ジオキサン		<0.005	<0.005	0.05mg/l以下

注1)基準値のうちpH、BOD、SS、DO、大腸菌群数は【環境基準：河川A類型】、

Znは「環境基準：水生生物の生息状況の適応性【生物A】」、

大腸菌、一般細菌は【水道法に基づく水質基準に関する省令】、

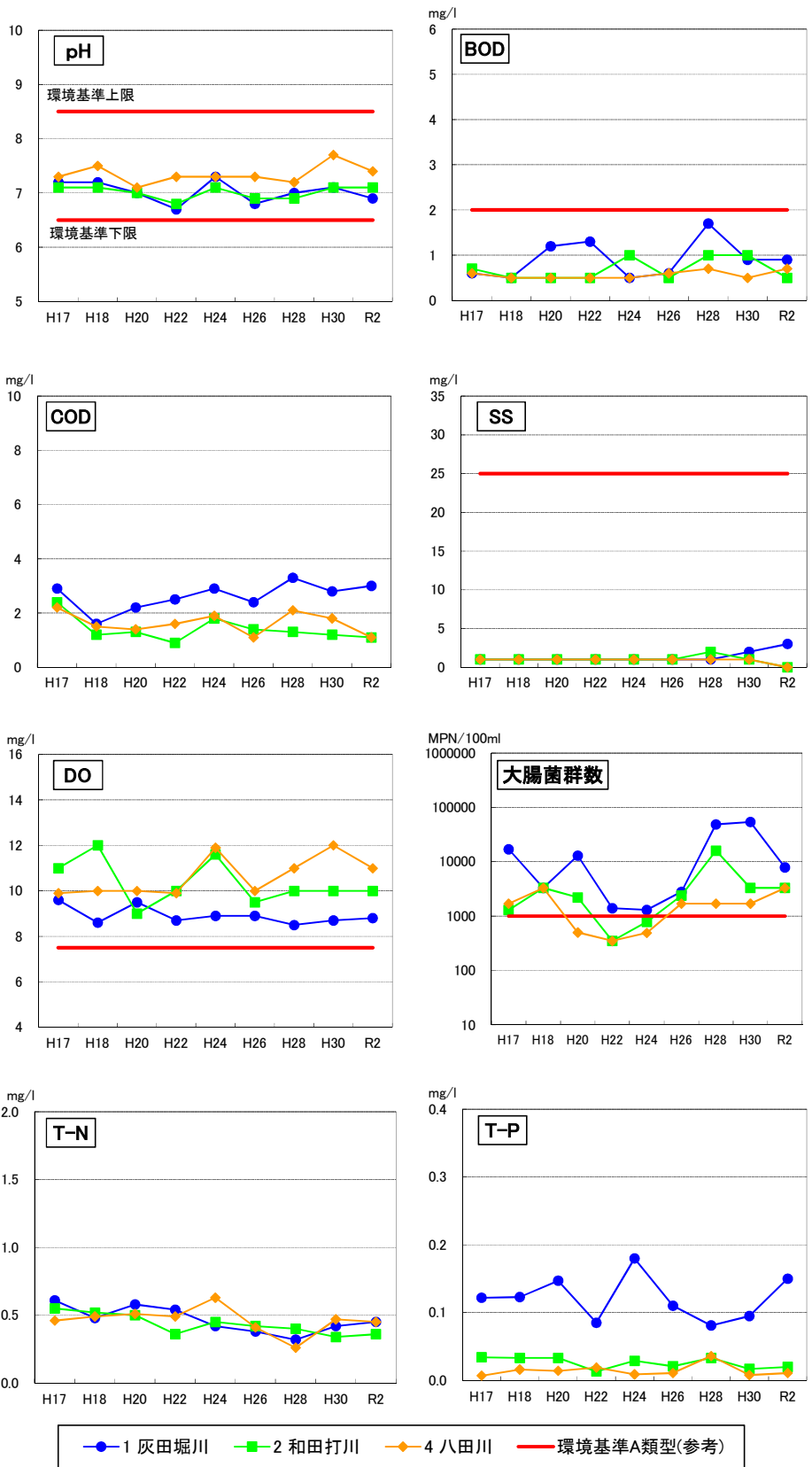
その他の項目は【地下水の水質汚濁に係る環境基準】の値を示しています。

注2)CODについては、地下水の環境基準はありません。

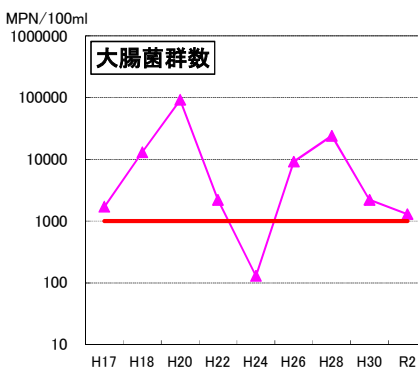
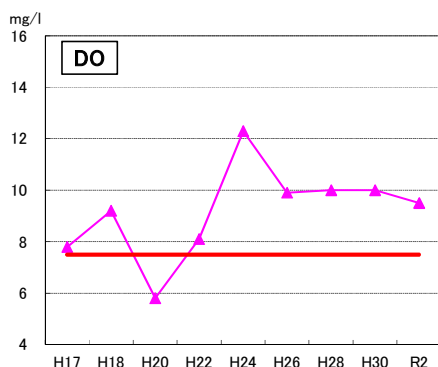
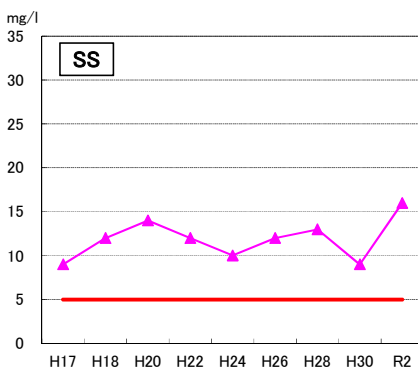
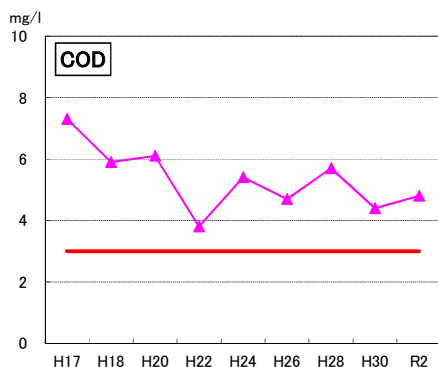
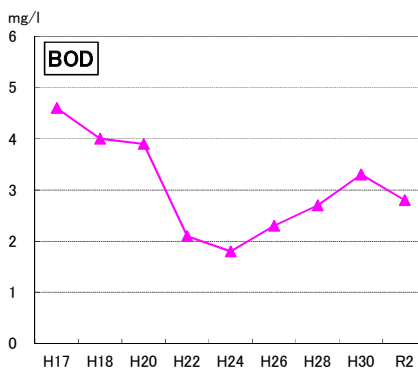
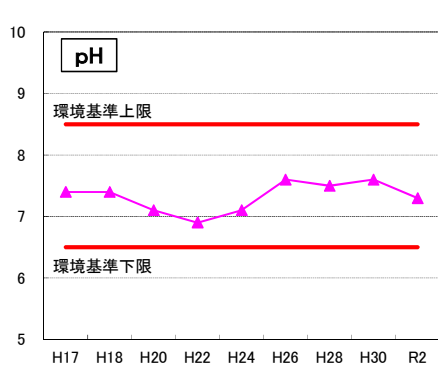
4. 用語解説

用語	説明
透視度	水の濁りの指標。値が大きいほど水の濁りが少ないことを示す。
水素イオン濃度(pH)	水の酸性、アルカリ性の度合いを示す指標。7が中性。7より小さいと酸性、大きいとアルカリ性。一般的な河川ではpH7付近を示す。
生物化学的酸素要求量(BOD)	水中の有機物が好気性微生物によって分解されるときに消費される酸素の量。一般的に値が大きいほど有機物によって水が汚れていることを示す。
化学的酸素要求量(COD)	水中の有機物を化学的に酸化するとき消費される酸素の量。一般的に値が大きいほど有機物によって水が汚れていることを示す。
浮遊物質量(SS)	水中に浮遊している固形物の重量。一般的に値が大きいほど水が汚れていることを示す。
溶存酸素量(DO)	水中に溶けている酸素の量。汚れた水では、有機物の分解に酸素が使われるため値が小さくなる。一般的に値が大きいほど水がきれいであることを示す。
大腸菌群数	大腸菌および大腸菌と非常によく似た性質をもつ細菌の総称。大腸菌群そのもの全てが病原性を持つわけではない。大腸菌群の中に含まれる細菌の中には、動物の糞便由来以外に、土壌等自然界に由来するものも多くあり、人為汚染の考えられないような水域でも基準値以上の大腸菌群数が検出されることがある。一般的に大腸菌群数の値が大きいほど病原性細菌が存在する可能性が高いと判断される。

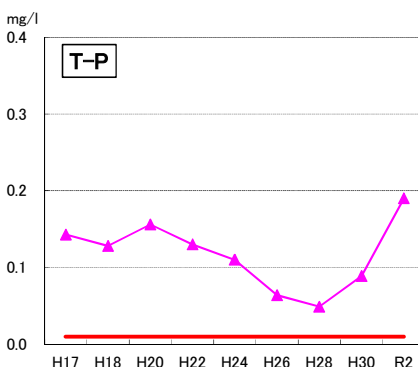
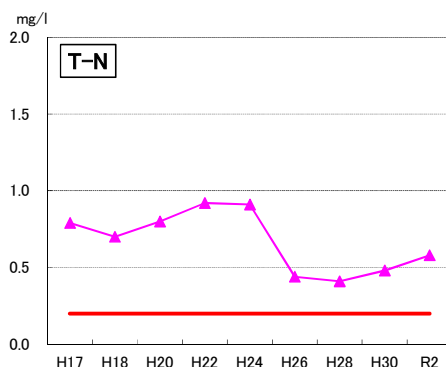
5. 河川の経年変化
高島地域(灰田堀川、和田打川、八田川)



高島地域(乙女ヶ池)

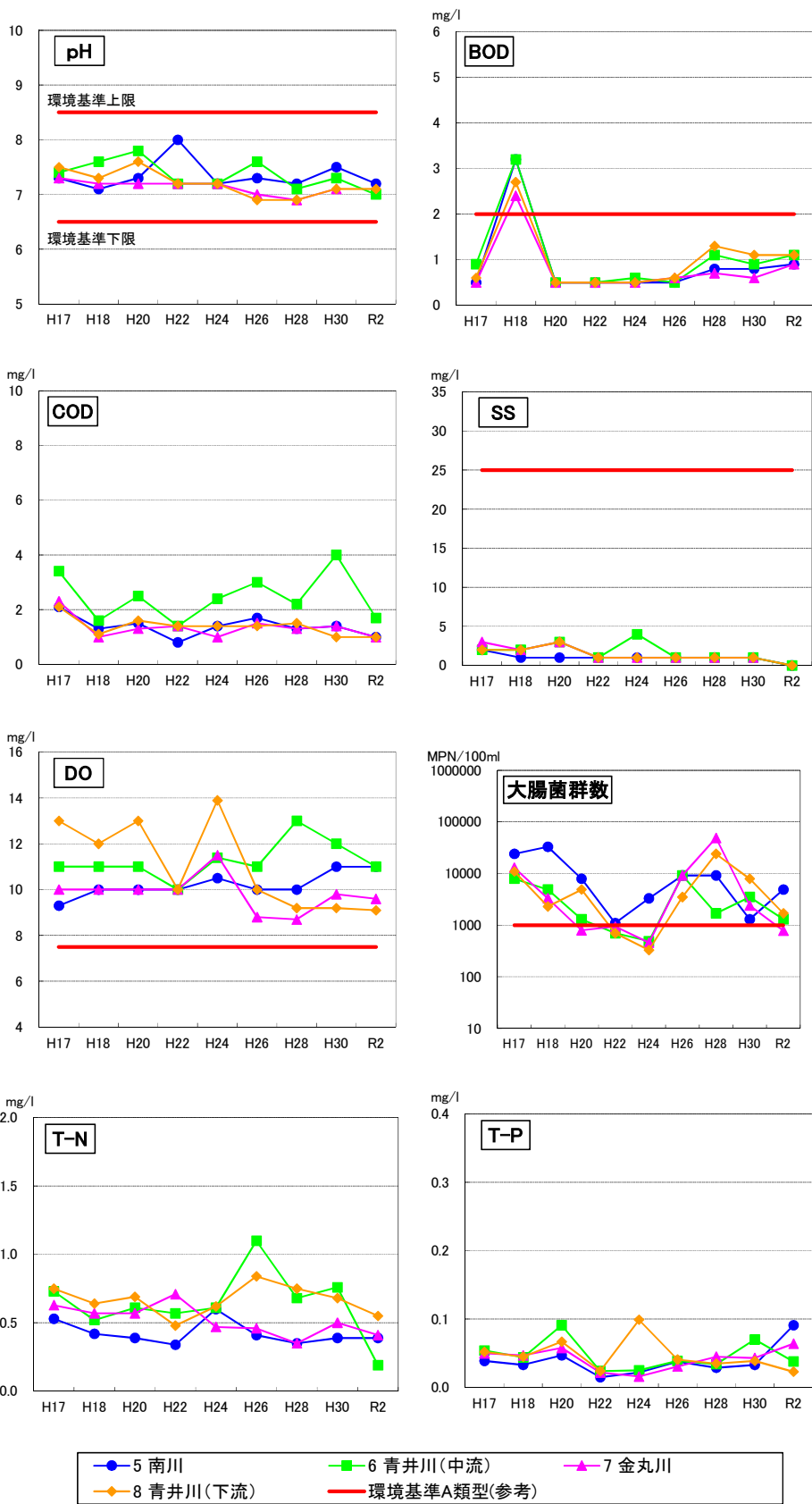


▲ 3 乙女ヶ池
 — 環境基準A類型(参考)

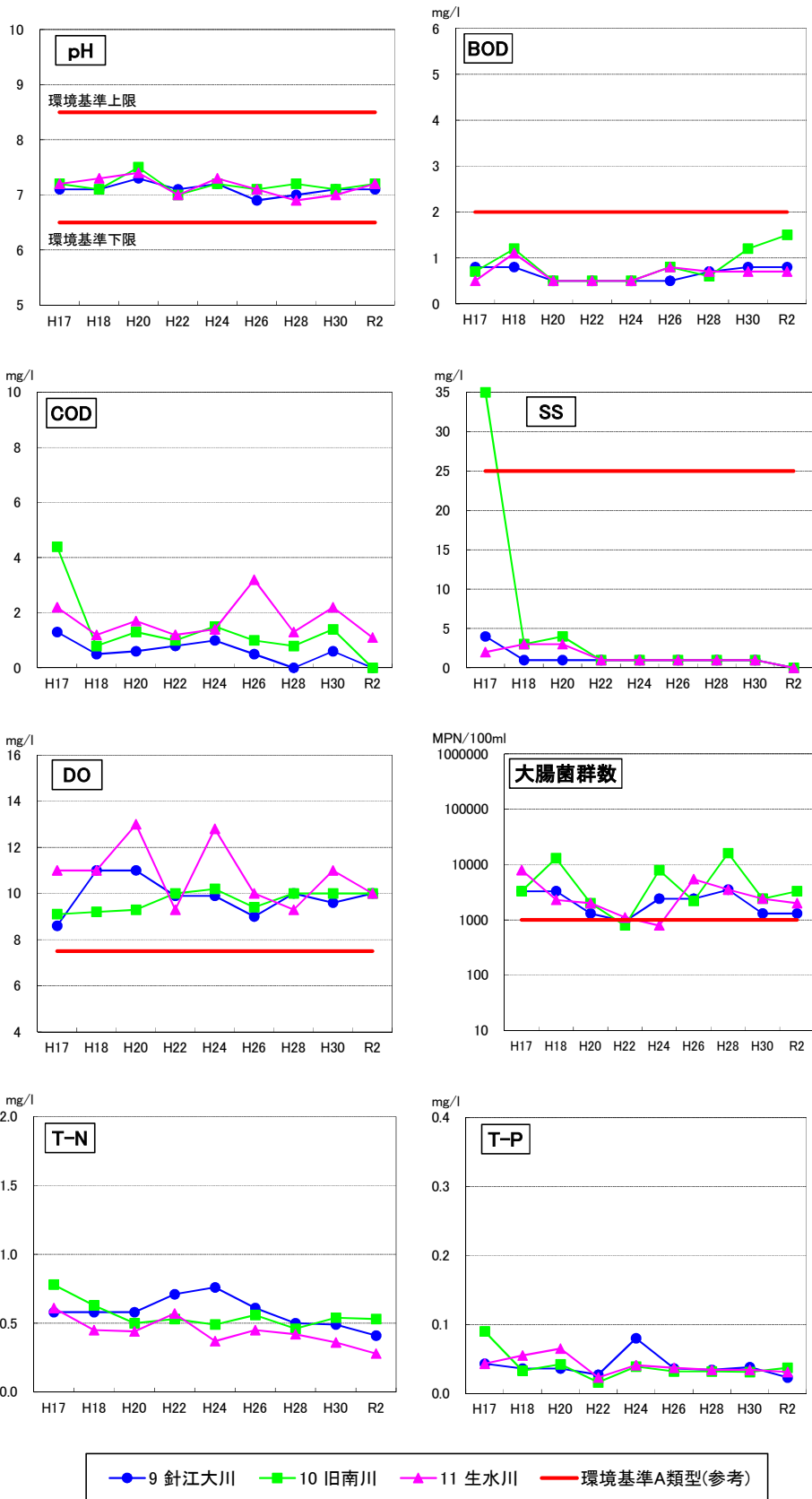


▲ 3 乙女ヶ池
 — 環境基準II類型(参考)

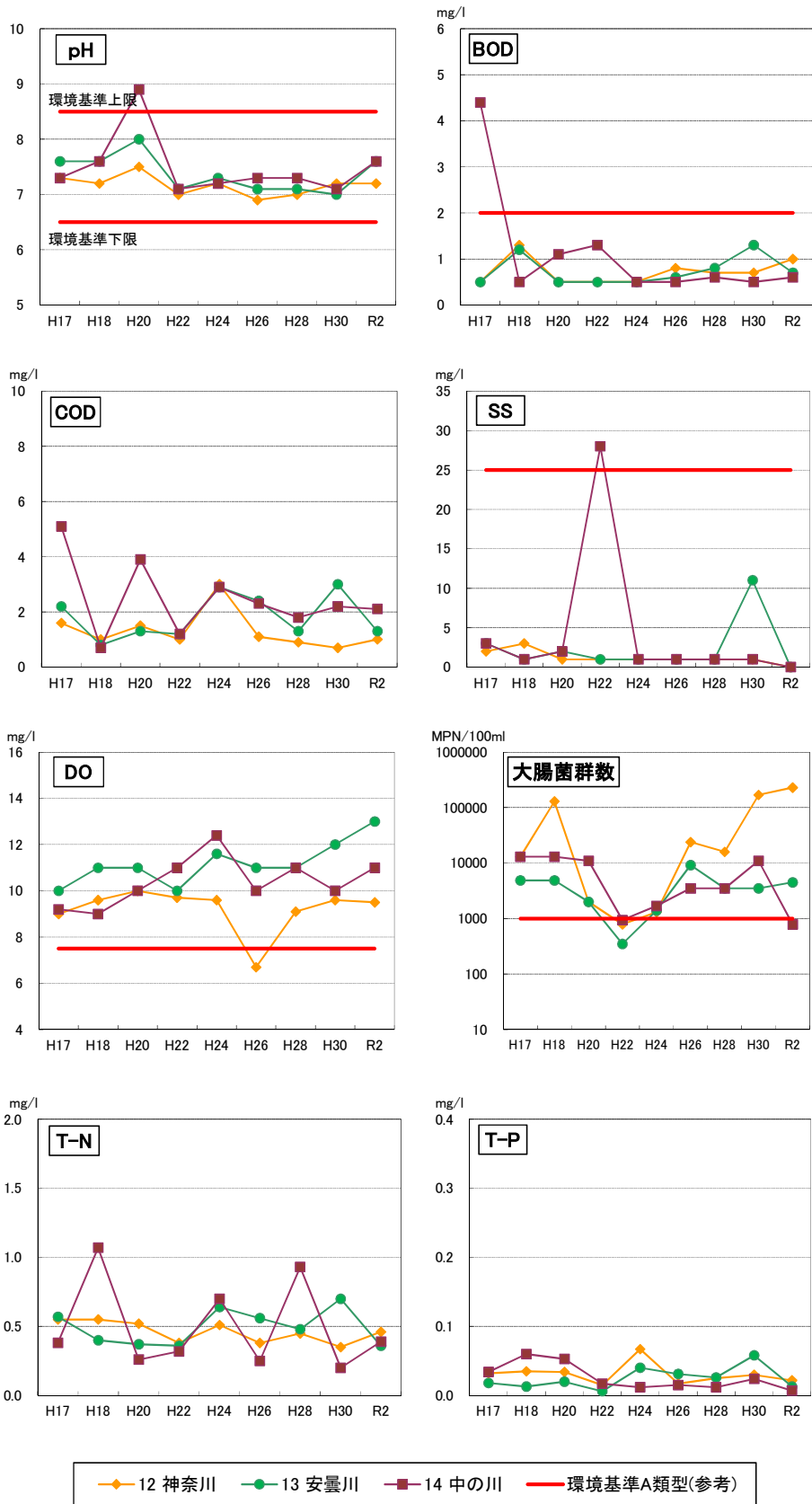
安曇川地域(南川、青井川(中流)、金丸川、青井川(下流))



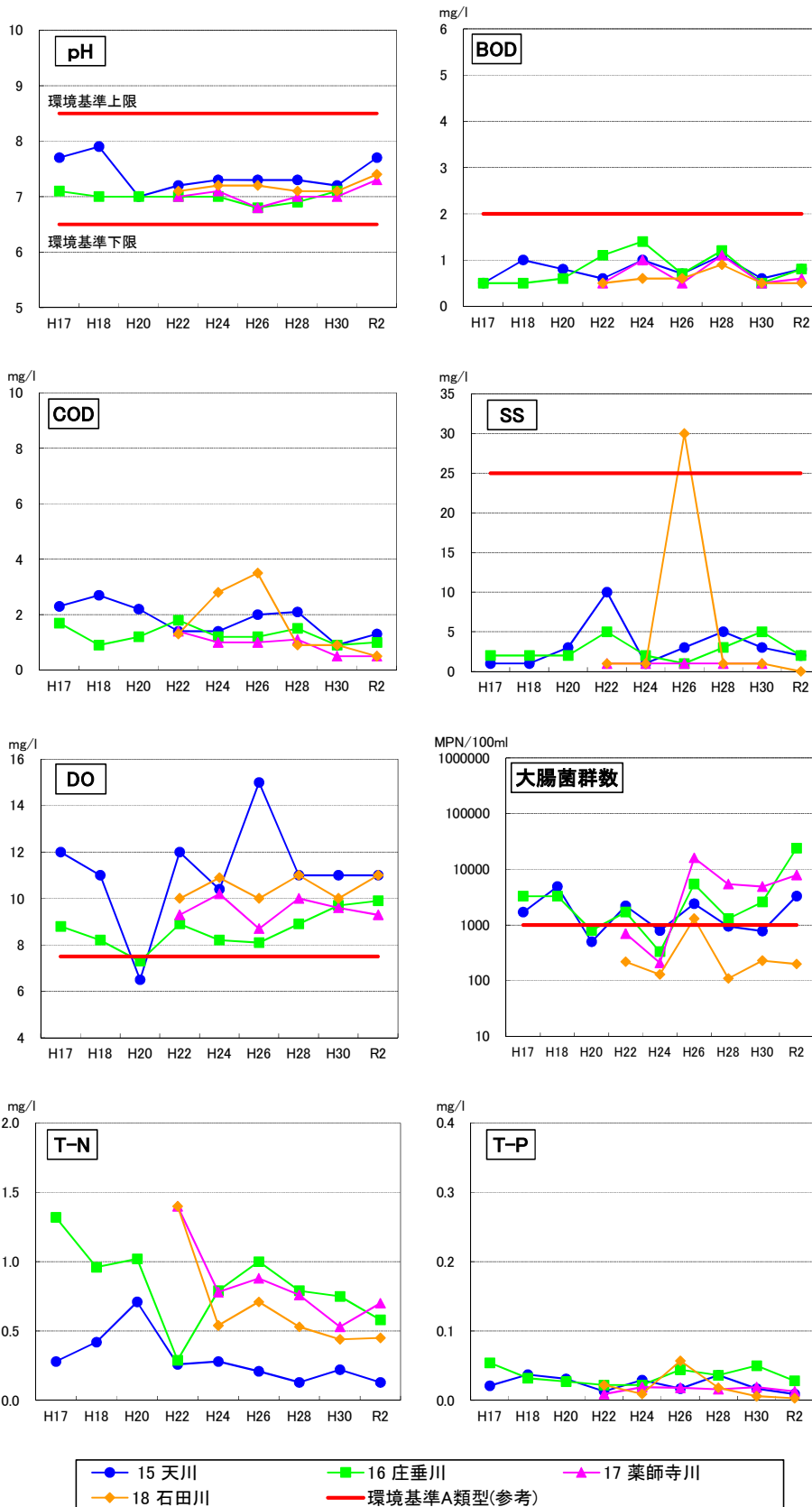
新旭地域(針江大川、旧南川、生水川)



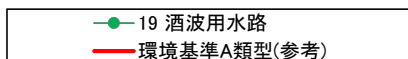
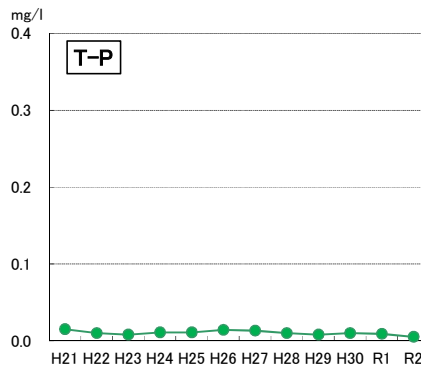
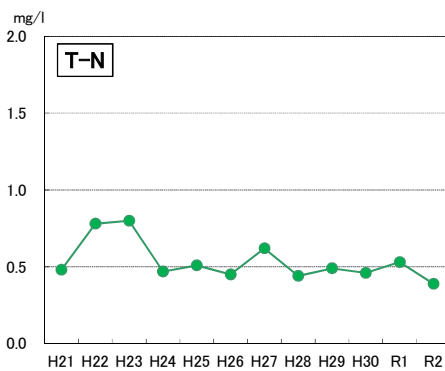
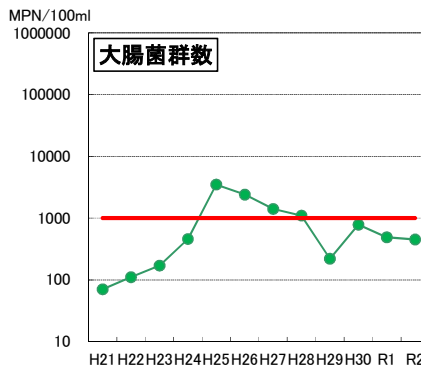
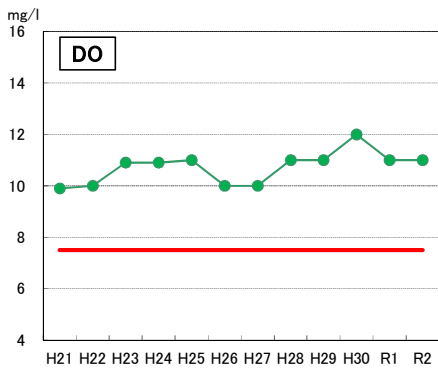
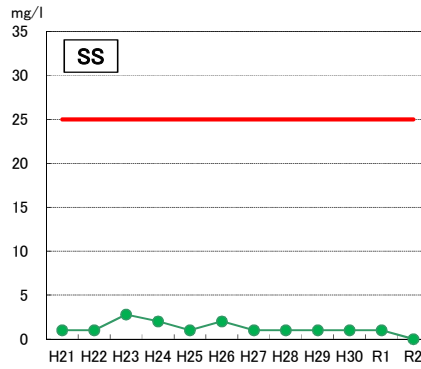
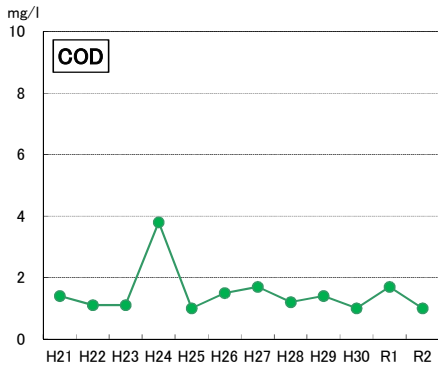
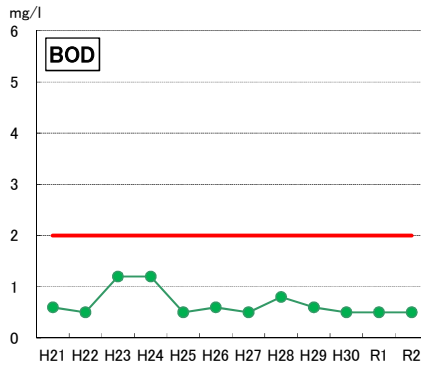
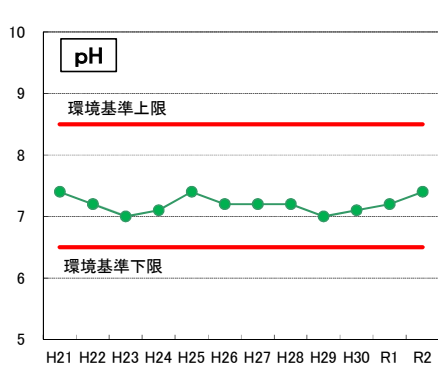
新旭地域(神奈川、安曇川、中の川)



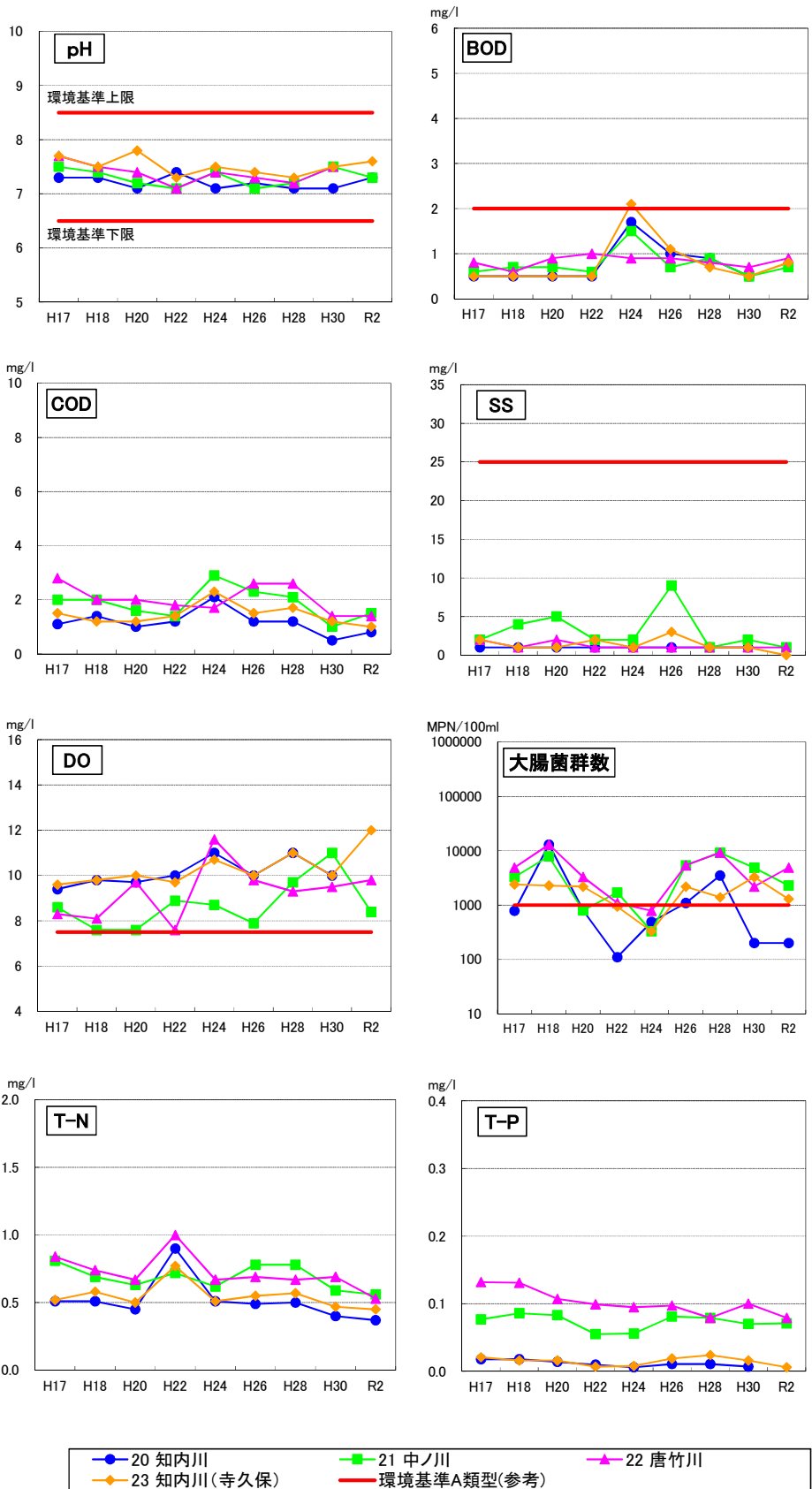
今津地域(天川、庄垂川、薬師寺川、石田川)



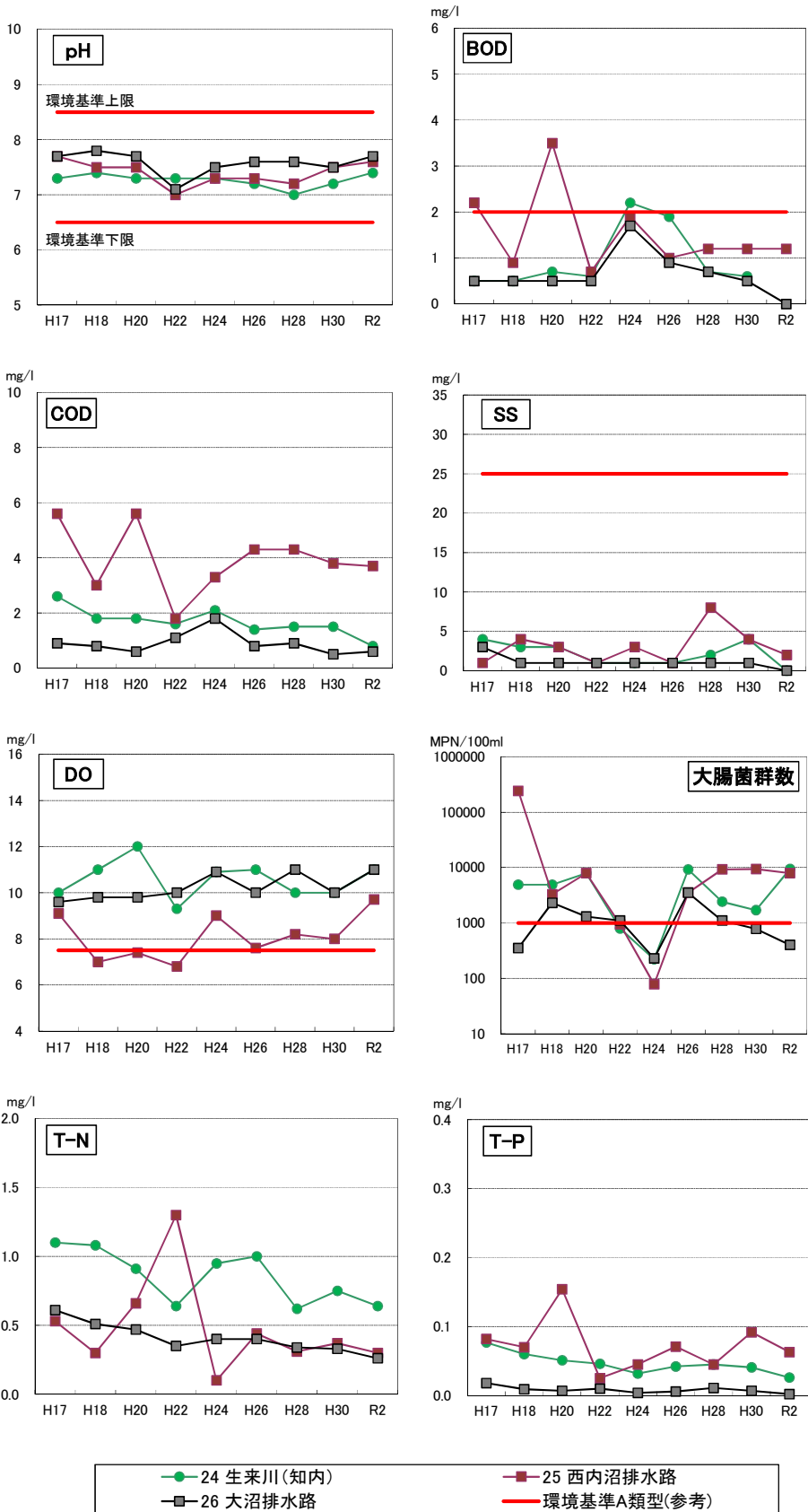
今津地域(酒波用水路)



マキノ地域(知内川、中ノ川、唐竹川、知内川(寺久保))



マキノ地域(生来川(知内)、西内沼排水路、大沼排水路)



(6) 令和2年度不燃物処理場放流水水質検査結果

今津不燃物処理場 放流水

採取月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水温	°C	12.9	16.6	21.7	21.6	24.5	27.4	20.0	16.2	11.8	8.0	6.4	9.1
n-ヘキサン抽出物(動植物油脂類)	mg/L			0.5未満						0.5未満			
n-ヘキサン抽出物(鉱油類)	mg/L			0.5未満						0.5未満			
大腸菌群数	個/cm3			0			6			0			0
ph (水素イオン濃度)		7.5	7.4	7.6	7.7	7.4	7.7	7.7	7.7	7.7	7.6	7.6	7.5
SS (浮遊物質質量)	mg/L	0.5未満	0.8	0.5未満	0.5未満	0.6	1.0	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
COD (化学的酸素要求量)	mg/L	2.6	3.4	3.4	2.7	2.8	3.4	2.8	2.4	2.4	2.0	1.2	1.3
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/L	3	2	2	2	1未満	2	2	1	1未満	1	1	1未満
燐	mg/L			0.1未満			0.1			0.1未満			0.1未満
アンモニア、アンモニウム化合物、硝酸化合物及び亜硝酸化合物	mg/L						1.8						
窒素	mg/L	1.7	2.1	2.2	1.5	1.2	2.3	2.1	1.4	1.0	0.6	0.7	0.5未満
色度	度			9.6			15.5			4.1			1.0未満
濁度	度			0.7			1.6			0.5未満			0.5未満
カドミウム及びその化合物	mg/L			0.005未満						0.005未満			
シアン化合物	mg/L			0.01未満						0.01未満			
有機燐化合物	mg/L			0.1未満						0.1未満			
鉛及びその化合物	mg/L			0.05未満						0.05未満			
六価クロム化合物	mg/L			0.01未満						0.01未満			
ひ素及びその化合物	mg/L			0.01未満						0.01未満			
水銀及びその化合物	mg/L			0.0005未満						0.0005未満			
アルキル水銀化合物	mg/L			不検出						不検出			
PCB	mg/L			0.0005未満						0.0005未満			
トリクロロエチレン	mg/L						0.001未満						
テトラクロロエチレン	mg/L						0.001未満						
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L						0.001未満						
四塩化炭素	mg/L						0.001未満						
ジクロロメタン	mg/L						0.02未満						
1,2-ジクロロエタン	mg/L						0.004未満						
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L						0.006未満						
1,1-ジクロロエチレン	mg/L						0.02未満						
1,3-ジクロロプロペン	mg/L						0.002未満						
ベンゼン	mg/L						0.01未満						
1,2-ジクロロエチレン	mg/L						0.004未満						
フェノール類	mg/L						0.1未満						
銅	mg/L						0.01未満						
亜鉛	mg/L						0.01未満						
溶解性鉄含有量	mg/L	0.54	0.51	0.57	0.41	0.36	0.67	0.49	0.54	0.43	0.1未満	0.48	0.1未満
溶解性マンガン	mg/L						0.10未満						
クロム	mg/L						0.01未満						
フッ素	mg/L						0.2未満						
ホウ素	mg/L						0.4						
セレン	mg/L						0.01未満						
1,4ジオキサン	mg/L						0.005未満						
チウラム	mg/L						0.006未満						
シマジン	mg/L						0.003未満						
チオベンカルブ	mg/L						0.02未満						
ダイオキシン類(コプラナPCB含む)	pg-TEQ/L						0.00028						

朽木不燃物処理場 放流水

採取月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水温	℃	10.3	12.2	14.8	15.8	18.3	19.8	17.5	14.1	11.8	8.7	9	8.8
n-ヘキサン抽出物(動植物油脂類)	mg/L						0.5未満					0.5未満	
n-ヘキサン抽出物(鉱油類)	mg/L						0.5未満					0.5未満	
大腸菌群数	個/cm3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
pH (水素イオン濃度)		7.2	7.2	7.3	7.5	7.3	7.3	7.7	7.5	7.6	7.2	7.6	7.5
SS (浮遊物質)	mg/L	3.4	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.8	0.5未満	0.5未満	0.7	0.5未満	0.5未満	0.5未満
COD (化学的酸素要求量)	mg/L	1.8	1.2	1.2	2	1.2	1	2.1	1.5	1.7	1.2	1.5	1.5
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/L	2	1	1	2	1未満	2	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満
燐	mg/L	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
アンモニア、アンモニウム化合物、硝酸化合物及び亜硝酸化合物	mg/L						0.5未満						
窒素	mg/L	0.5	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.7	0.5未満	0.7	0.5未満	0.6	0.5
カドミウム及びその化合物	mg/L						0.005未満					0.005未満	
シアン化合物	mg/L						0.01未満					0.01未満	
有機燐化合物	mg/L						0.1未満					0.1未満	
鉛及びその化合物	mg/L						0.05未満					0.05未満	
六価クロム化合物	mg/L						0.01未満					0.01未満	
ヒ素及びその化合物	mg/L						0.01未満					0.01未満	
水銀及びその化合物	mg/L						0.0005未満					0.0005未満	
アルキル水銀化合物	mg/L						不検出					不検出	
PCB	mg/L						0.0005未満					0.0005未満	
トリクロロエチレン	mg/L						0.001未満						
テトラクロロエチレン	mg/L						0.001未満						
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L						0.001未満						
四塩化炭素	mg/L						0.001未満						
ジクロロメタン	mg/L						0.02未満						
1,2-ジクロロエタン	mg/L						0.004未満						
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L						0.006未満						
1,1-ジクロロエチレン	mg/L						0.02未満						
1,3-ジクロロプロペン	mg/L						0.002未満						
ベンゼン	mg/L						0.01未満						
1,2-ジクロロエチレン	mg/L						0.004未満						
フェノール類	mg/L						0.1未満					0.1未満	
銅	mg/L						0.01未満					0.01未満	
亜鉛	mg/L						0.04					0.03	
溶解性鉄含有量	mg/L						0.1未満					0.1未満	
溶解性マンガン	mg/L						0.1未満					0.1未満	
クロム	mg/L						0.01未満					0.01未満	
フッ素	mg/L						0.2未満					0.2未満	
ホウ素	mg/L						0.1未満					0.1未満	
アンチモン	mg/L						0.01未満					0.01未満	
セレン	mg/L						0.01未満						
1,4-ジオキサン	mg/L						0.005未満						
チウラム	mg/L						0.006未満						
シマジン	mg/L						0.003未満						
チオベンカルブ	mg/L						0.02未満						
ダイオキシン類(コプラナPCB含む)	pg-TEQ/L						0.012						

高島横山不燃物処理場 放流水

採取月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水温	℃	12.4	14.8	16.5	16.4	21.1	24.5	18.3	13.9	10.3	9.8	9.6	11.4
n-ヘキサン抽出物(動植物油脂類)	mg/L		0.5未満						0.5未満				
n-ヘキサン抽出物(鉱油類)	mg/L		0.5未満						0.5未満				
大腸菌群数	個/cm3		0						2				
pH(水素イオン濃度)		7.2	7.3	7.6	7.8	7.8	7.8	7.8	7.7	8.1	8.2	8.2	7.9
SS(浮遊物質)	mg/L	6	3	2.4	0.6	0.6	2.6	5.8	5.8	2.6	1.4	1.2	2
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	2.6	3.7	2.3	3.4	2.8	2.3	2.8	3.3	2.8	3.5	3.2	3
BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/L	2	1	1	1未満	2	2	1未満	2	2	1	2	2
燐	mg/L		0.1未満						0.1未満				
アンモニア、アンモニウム化合物、硝酸化合物及び亜硝酸化合物	mg/L		3.4						3.200				
窒素	mg/L	3.1	3.6	3.1	1.6	2.3	2.5	3.1	3.3	3.6	5.1	4.5	3.4
カドミウム及びその化合物	mg/L		0.005未満						0.005未満				
シアン化合物	mg/L		0.01未満						0.01未満				
有機燐化合物	mg/L		0.1未満						0.1未満				
鉛及びその化合物	mg/L		0.05未満						0.05未満				
六価クロム化合物	mg/L		0.01未満						0.01未満				
ヒ素及びその化合物	mg/L		0.01未満						0.01未満				
水銀及びその化合物	mg/L		0.0005未満						0.0005未満				
アルキル水銀化合物	mg/L		不検出						不検出				
PCB	mg/L		0.0005未満						0.0005未満				
トリクロロエチレン	mg/L		0.001未満						0.001未満				
テトラクロロエチレン	mg/L		0.001未満						0.001未満				
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L		0.001未満						0.001未満				
四塩化炭素	mg/L		0.001未満						0.001未満				
ジクロロメタン	mg/L		0.02未満						0.02未満				
1,2-ジクロロエタン	mg/L		0.004未満						0.004未満				
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L		0.006未満						0.006未満				
1,1-ジクロロエチレン	mg/L		0.02未満						0.02未満				
1,3-ジクロロプロペン	mg/L		0.002未満						0.002未満				
ベンゼン	mg/L		0.01未満						0.01未満				
1,2-ジクロロエチレン	mg/L		0.004未満						0.004未満				
フェノール類	mg/L		0.1未満						0.1未満				
銅	mg/L		0.01未満						0.01未満				
亜鉛	mg/L		0.01未満						0.02				
溶解性鉄含有量	mg/L		0.7						0.26				
溶解性マンガン	mg/L		0.1未満						0.1未満				
クロム	mg/L		0.01未満						0.01未満				
フッ素	mg/L		0.2未満						0.2未満				
ホウ素	mg/L		0.1						0.1				
セレン	mg/L		0.01未満						0.01未満				
1,4-ジオキサン	mg/L						0.005未満						
チウラム	mg/L		0.006未満						0.006未満				
シマジン	mg/L		0.003未満						0.003未満				
チオベンカルブ	mg/L		0.02未満						0.02未満				
ダイオキシン類(コプラナPCB含む)	pg-TEQ/L		0.025						0.012				

新旭饗庭不燃物処理場 放流水

採取月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水温	℃	18.2	20.9	21.8	21.8	23.1	22.2	20.0	19.1	16.9	16.6	18.1	19.4
n-ヘキサン抽出物(動植物油脂類)	mg/L		0.5未満					0.5未満					
n-ヘキサン抽出物(鉱油類)	mg/L		0.5未満					0.5未満					
大腸菌群数	個/cm3		3.0					34.0					
pH(水素イオン濃度)		7.4	7.4	7.6	7.5	7.7	7.6	7.5	7.7	7.8	7.8	7.7	7.6
SS(浮遊物質量)	mg/L	13.8	15.8	14.0	15.2	15.8	10.2	18.8	15.2	11.6	44.0	8.7	11.4
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	3.4	3.7	3.6	3.9	3.4	3.3	4	3.9	3.8	4.2	3.2	3.5
BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/L	2	1	3	1未満	2	3	2	3	2	3	3	4
燐	mg/L		0.1未満					0.1未満					
アンモニア、アンモニウム化合物、硝酸化合物及び亜硝酸化合物	mg/L		0.5未満					0.5未満					
アンモニア性窒素	mg/L		-				0.5	-					
窒素	mg/L	0.6	0.7	0.7	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	1	0.6	0.5	0.5
カドミウム及びその化合物	mg/L		0.005未満					0.005未満					
シアン化合物	mg/L		0.01未満					0.01未満					
有機燐化合物	mg/L		不検出					不検出					
鉛及びその化合物	mg/L		0.05未満					0.05未満					
六価クロム化合物	mg/L		0.01未満					0.01未満					
ヒ素及びその化合物	mg/L		0.01未満					0.01未満					
水銀及びその化合物	mg/L		0.0005未満					0.0005未満					
アルキル水銀化合物	mg/L		不検出					不検出					
ポリ塩化ビフェニル	mg/L		0.0005未満					0.0005未満					
トリクロロエチレン	mg/L		0.001未満					0.001未満					
テトラクロロエチレン	mg/L		0.001未満					0.001未満					
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L		0.001未満					0.001未満					
四塩化炭素	mg/L		0.001未満					0.001未満					
ジクロロメタン	mg/L		0.02未満					0.02未満					
1,2-ジクロロエタン	mg/L		0.004未満					0.004未満					
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L		0.006未満					0.006未満					
1,1-ジクロロエチレン	mg/L		0.02未満					0.02未満					
1,3-ジクロロプロペン	mg/L		0.002未満					0.002未満					
ベンゼン	mg/L		0.01未満					0.01未満					
1,2-ジクロロエチレン	mg/L		0.004未満					0.004未満					
フェノール類	mg/L		0.1未満					0.1未満					
銅	mg/L		0.01未満					0.01未満					
亜鉛	mg/L		0.01未満					0.0100					
溶解性鉄含有量	mg/L		0.10未満					0.10未満					
溶解性マンガン	mg/L		0.45					0.24					
クロム	mg/L		0.01未満					0.01未満					
フッ素	mg/L		0.2未満					0.2未満					
ホウ素	mg/L		0.3					0.2					
アンチモン	mg/L		-				0.01未満	-					
ニッケル	mg/L		-				0.01未満	-					
よう素消費量	mg/L		-				4.1	-					
セレン	mg/L		0.01未満					0.01未満					
チウラム	mg/L		0.006未満					0.006未満					
シマジン	mg/L		0.003未満					0.003未満					
チオベンカルブ	mg/L		0.02未満					0.02未満					
ダイオキシン類(コプラナPCB含む)	pg-TEQ/L		0.17					0.24					

(7) 高島市環境基本計画の数値目標について

「第2次高島市環境基本計画」の進捗状況を把握するための平成27年度、令和2年度、令和7年度の目標数値を記載しました。この目標値に対して現在の数値は、以下のとおりです。

○美化活動参加率 令和2年度 12,272人 (平成27年度比 -10.1%)

	目標	進捗状況
平成27年度	13,619人	13,619人
令和2年度	15,000人 (+10%)	12,272人
令和7年度	17,700人 (+30%)	—

○区・自治会単位での環境担当役員の設置数 令和2年度 165団体 (全体の78%)

	目標	進捗状況
平成27年度	171団体 (全体の84%)	171団体
令和2年度	183団体 (全体の90%)	165団体
令和7年度	194団体 (全体の95%)	※第2次高島市環境基本計画策定時、区・自治会は204団体

○区・自治会、学校等での環境学習会、交流会の実施数

令和2年度 10回

【区・自治会・学校・園】

	目標	進捗状況
平成27年度	24回	24回
令和2年度	34回	10回
令和7年度	44回	—

○環境こだわり農業の実施数

令和2年度 面積1,165ha (平成27年度比 -7.0%)

	目標	進捗状況
平成27年度	面積：1,253ha	1,253ha
令和2年度	現状維持	1,165ha
令和7年度	現状維持	—

○天然林の割合

令和2年度 53% 19,400 ha

	目標	進捗状況
平成27年度	53% (19,417ha)	53% (19,417ha)
令和2年度	現状維持	53% (19,400ha)
令和7年度	現状維持	—

○魚貝類の種類

令和2年度 固有種54種類 (魚類17種類、貝類37種類)

	目標	進捗状況
平成27年度	琵琶湖固有の魚貝類45種類 (魚類16種類、貝類29種類)	琵琶湖固有の魚貝類45種類 (魚類16種類、貝類29種類)
令和2年度	現状維持	琵琶湖固有の魚貝類54種類 (魚類17種類、貝類37種類)
令和7年度	現状維持	—

○ごみ排出量

令和2年度実績 一人当たり 910g/日 総量 15,798 t/年

※参考 うち可燃ごみ排出量

令和2年度実績 一人当たり 720g/日 総量 12,499 t/年

	目標	進捗状況
平成27年度	一人当たり 901g/日 総量：16,843t/年	一人当たり 901g/日 総量：16,843t/年
令和2年度	一人当たり 856g/日 (-5%) 総量：15,159t/年 (-10%)	一人当たり 910g/日 総量：15,798t/年
令和7年度	一人当たり 811g/日 (-10%) 総量：13,680t/年 (-18.8%)	—

高島市環境白書 2021

(高島市環境白書)

令和4年(2022年)3月発行

編集・発行 高島市環境部環境政策課

〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑 565 番地

TEL 0740-25-8123

FAX 0740-25-8156

E-mail kankyo@city.takashima.lg.jp